

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51 年 10 月 12 日

調査者氏名 中野勝安 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) FISH CULTURE (日本語) 水産養殖 (魚類)	(男) 1 人 (女) 人 人 (どちらでも可)	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 6 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): CATANDUANES AGRICULTURAL AND INDUSTRIAL COLLEGE.

(日本語): カタンディアネス 農工業大学

ロ. 隊員勤務先名称: Catanduanes Agricultural and Industrial College Fishery Education 日本語名称 (水産学部)

所在地: Pangasinan, Catanduanes 主要都市からの距離 (VIRACより) 57 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1949年創立 州立高等学校. 1955年 農業水産高等学校に名称変更. 1957. 農工業高等学校に変更. 1972. 農工業大学に昇格(国立). 学校総面積 53872 ㎡ 全職員 80名 水産インストラクター 2名 全生徒数 700名 (大生 155名 他 小高校生)

ニ. 設備概要: 延 5ヘクタールの池 (非塩水) があり 水中に、フナ、シロフ、フナ、カニが生息している。淡水海水であるので、海との間に塩水を含んだ池の増設が計画されている。水門は完備。

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 隊員の業務上の地位: 水産養殖 一般 漢語のインストラクター
- ・ 技術の範囲: 現在の養殖は自然の繁殖で、生息している 2池を定期的に食料(魚の餌)を補給して、生息を早く、商業化するように研究する。繁殖させる事が容易であるかやと期待している。学校であるがゆえ、カリフォルニアの理論も行う。その他 水産一般 漢語も当局は期待している。
- ・ 業務の形態: 高校生及び大学生に理論と実習を兼ねあわせて指導する。その他 2名の水産講師の相談による。赴任当初は、語学の問題があり、実習が主になる。
- ・ 対象者及びカテゴリーの技術水準、学歴及び年齢: カリフォルニアは、2名の水産講師 (Mr. Miguel V. Atencia 大卒 26歳) (Miss Minda R. Lelen)
- ・ 職場に於ける外国人及び日本専門家の配置状況: 日本人無し、アメリカ海軍部隊経験者、水産事務所配属の専任 専門養殖。
- ・ 使用言語: 英語、その他、ヒュール、タガログ

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 名称は 農工業大学であるが、どの部局にも設備がない。日本のノウハウからいって、(高等学校で学ぶ) 農工業大学で学ぶ。一応スタッフも揃っているが、中身が浅く、教科書もない。学校側は、実習の方を期待しているが、赴任したと両方(理論)を指導する必要がある。水産養殖ばかりでなく、漢語漢語も期待しているので、書籍、機材の携行が必要不可欠である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 学歴 専門大学卒程度 (高校卒の場合は経験豊富のこと)
- ② 取得資格 無し
- ③ 実務経験 最低1年以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

201 陶磁器

記入昭和 50 年 8 月 15 日

< 陶磁器 >

調査者氏名 花田真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Honduras (ホンジュラス)	(現地公用語) Ceramica	(男) 人	訓練開始 51 年 4-6 月
	(日本語) 陶器製造	(女) 人 (どちらでも可) 1 人	派遣予定 51 年 8-10 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Consejo Superior de planificación Economica

イ. 配属先名称 (現地公用語): Centro Cooperativo Tecnica Industrial (CCTI)

(日本語): 産業技術 協力センター

ロ. 隊員勤務先名称: Centro Adiestramiento Artesanal Valle de Angeles (技術訓練センター)

所在地: Valle de Angeles 主要都市からの距離 (首都より 80 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 全生徒数 80 名中 11 名が限器材料訓練を受けているが、専門の指導者がいない。現在メキシコ人 (25 名) の指導者が生産指導に当たっている。小規模の製法は設備が整っており小さな工場と見える。生徒は訓練のかわりに生産に当たっており民芸品と

ニ. 設備概要: 電気窯 大 小 各 1 個、ガス窯 大 小 各 1 個、薪窯 大 1 個 (2m x 2m)、 \rightarrow して販売している。ロクロ、足付式 4 個、機械大量生産型 6 個、土漉過装置 3 組 (700 カトイ製)。

(2) 隊員の業務内容: 全国刊紙類で選出された生徒 約 10 名に対し 1 年用限器の製造方法 (ロクロ、機械生産式、石膏鑄型式) 着色、テグイン、等について指導する。又当該国産土質の原料の成分分析等について同僚 (助手) に指導し、各種原料による製品の色等の研究に当たる。

① 隊員の業務上の地位 ----- 指導員、又は教員

② 技術の範囲 ----- ロクロによる指導技術、テグイン感覚、原料の成分分析知識、方法、マニファクトリー規模における生産技術指導等広範囲の技術が要求される。

③ 業務の形態 ----- 職業訓練学校形式、午前 8 時 - 12 時、2 時 - 5 時 30 分、土曜日は午前中のみ

④ 対象者及びカウンタパートの技術水準、学歴、年齢 ----- 対象者、小規模が最低条件ではない。1975 年 1 月 1 日現在、年齢は若い。カウンタパートは同僚 1 月 1 日の年齢に達するかどうか、メキシコへ 1 年用留学し、年齢は 21 才 (女性)。

⑤ 現地不利用可能な機材 ----- 上記 (2) の設備

⑥ 転場における才力、日本人及び日本人の内訳の配置状況 ----- メキシコ人 (1975 年 1 月 1 日)

⑦ 使用言語 ----- スペイン語

* Centro Adiestramiento Artesanal Valle de Angeles (CAAVA) については別添説明

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新しい限器製造技術及び新規加工技術を指導することにより小規模生産者 (マニファクトリー) の生産能力を高め、同工業の発展による低所得水準の向上を目的としている。又、同工業用に存在する十分な原料の利用による輸出向け産業の開発にも目を向け、日本の新技術を導入し、これは日本並の技術水準に達することを目的としている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

◎ ロクロ使用による指導技術、着色、テグイン、原料の選取技術、漉過装置の取扱、知識。小規模の工場 (10 名程度) には、生産の全工程を経験しているか、少なくとも 25 才前後。

学歴は特に問わないが最低高卒条件と判断する。

◎ 原料 (土) の成分分析が出来る事

陶磁器

紙

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

211 木 工

記入 昭和 50 年 10 月 17 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウ	(現地公用語) WOOD WORK	(男) 人	訓練開始 5/ 年 4 月
	(日本語) 木工	(女) 人	派遣予定 5/ 年 8 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION
 (日本語): 教育省

ロ. 隊員勤務先名称: _____ 日本語名称 ()
 所在地: _____ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 中学高校の職業訓練コースで木工一般につき生徒指導

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 職業教育関係の学位又は資格を保持者
英会話堪能 できれば教職免状保持者

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

⑧5

221 鋳

造

記入昭和 51 年 4 月 2 / 日

調査者氏名 在バングラデシ駐在員

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣
バングラデシ	(現地公用語) Metal Works (日本語) 221 鋳 造	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 51 年 10 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Water Development Board, Ministry of Flood Control, Water

(日本語): Resources and Power. 水資源開発委員会, 治水水資源電力省

ロ. 隊員勤務先名称: Mechanical Equipment Organization 日本語名称 (機械施設部門)

所在地: Kaptai 主要都市からの距離 約250キロ

ハ. 事業規模及び内容: 陸上発電施設 B.W. 修理工場建設と取扱
全国6ヶ所の事業所を有す (Dacca, Chittagong, Khulna, Bogra, Kaptai 他)

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 1) 隊の業務内容
- 2) 業務の形態
- 3) 技術の範囲:
 - ① 高速V-ツルビンの gears, piston, piston rings, sheaves 等. 鋳造 (casting) or 乾温鋳造 (wet & dry molding) による近代的鋳造技術の充て。
 - ② 部品の鋳造 (forging)
 - ③ overhead welding を含む溶接。
- 4) 指導対象: 実務経験を有する現場のワーカー職工。
- 5) 使用可能機材: 小規模の鋳造所を有する。
- 6) どの語使用を原則とする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現場での日常作業を通じ、技師、職工の技術の向上を目的としており、隊員自身で、先進技術の作業を実施出来る人を求めている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1) 短大卒程度

2) 資格: 上記作業を行うに必要な資格・免許は必須

② 実務経験: 3年以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51年 10月 18日

311 工作機械

調査者氏名 八林明生

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Machine Shop	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Kementerian Pelajaran
 (日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Maktab Perguruan Teknik 日本語名称 (技術教員養成大学)
 所在地: Jalan cheras K.L 主要都市からの距離 (市内より5km)

ハ. 事業規模及び内容: 職業訓練学校の先生を養成する コースは Vocational School 中
業政を除く 教員とを有する 生徒数約800人 教員数約70人 助手10人
3年制の大学。

ニ. 設備概要: Vocational Schoolの先生養成という点もあり 殆んど設備は整っている。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 現職 ~~技術教員~~ 教員
- ② 技術の範囲: 基礎機械工学 特殊フコイ装置の案内的知識を有し
その運転 保守の教えられること
- ③ 業務の形態: 現地の先生同様、コースを担当する
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準: 現地のスタッフは日本人のカウンターパートと比べると難しいものの
学生は18才から26才くらい。技術水準は日本の工業高校程度である。
- ⑤ 現地で利用される機械: 殆んど日本人が利用される
- ⑥ 職場に於ける外国人系: TOCの隊員が日本人入りの2113の 76年12月末迄 R.TV 向けとなる
- ⑦ 使用される言語: マレー語 (英語が話せる方が便利)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: この学校は先代が蓄めたよりの Vocational Schoolの先生
を養成するところであり、教員の技術水準を高める努力にしているわけであるが、教師は
この学校を卒業して数年 Vocational School (で教えた後) 卒業して若くは、技術水準の低い
このような状況下から日本の技術を移転されることを望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒 (工作機械関係) 経験 2年

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

312 冷凍機器

記入昭和 51 年 12 月 7 日

調査者氏名 佐藤達雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Peyamanan dan penyejukan	(男) 1 人	訓練開始 52 年 4 月
	(日本語) 冷凍空調	(女) ✓ 人 (どちらでも可) ✓ 人	派遣予定 52 年 10 月 受入期限 52 年 10 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Kementerian Pelajaran.
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Politeknik Ungku Omar (日本語名称 (1 年 - 技術工芸学校))
所在地: 主要都市からの距離 (Ipoh より 2 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 工学部, 商学部を持つ短期大学程度の学校であり, 工学部には電気機械土木建築及び船舶機関科より成り立っている。商学部, 船舶機関科以外は 2 年 3 ヶ月の修業期間であり 学生総数は千数百人である。

ニ. 設備概要: UNESCO の援助により設立された学校であり, 設備は充分であるが, 教材用として新プロジェクトのための機材を購入するのは極めて困難を要する。

(2) 隊員の業務内容: ① 隊員の業務上の地位: 冷凍空調科, Instructor 又は Lecturer とする。

② 技術の範囲: 冷凍空調部門に携わったことのある人物で Electrical Control, Refrigeration System Design, Architecture Drawing, Mechanical Drawing Heat and Fluid, Piping など知識は浅くとも広範囲な分野を必要とされる。

③ 業務の形態: 教師として学生の指導と Instructor あるいは Technician などの Counter-part の養成も行う。

④ 対象者及び Counter-part の技術水準, 学歴及び年齢: 学生は 18 才 ~ 22 才, 日本における工業高校 / 学年生程度の知識, Counter part としては工業短期大学卒業程度, 24 ~ 26 才 知識は日本の工業高校 3 年生程度, 現場的実務経験なし。

⑤ 現地で利用できる機材: 約 15 の work shop があり そのすべての機材も利用できる教育に不自由しないだけの機材は揃っているが, 前記に通り新機材購入には困難をきたす。

⑥ 職場に於ける外国人及び日米専門家の配置状況:
American Peace Corps 約 10 名, Civil and Architecture Engineering 2 名
Mechanical Engineering: Auto. shop 1 名, Sheet metal shop 1 名, Machine Shop 1 名, Foundry shop 1 名, Librarian 1 名, Counsellor for students 1 名, Electrical shop 2 名, Canadian expert 1 名 (Commerce), Japanese experts 5 名 (Marine engineering)

⑦ 使用する言語: English or Malay.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

冷凍空調科ができてまだ何年とも経っており, その部門の教師と成り得る人物の不足, 特に現場的技術者の不足により実験室担当者も要望されている。又 Counter part の養成にも大きな期待を寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学又は工業高校を卒業し, 機械, 電気, 建築又は自動制御を専攻した者で, 取得資格は無用であるが, 冷凍空調分野に携わった事の有る者。

実務経験: 少なくとも 2 年とし, 3 年以上が好ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

312 冷凍機器

記入 昭和 51 年 4 月 7 日

調査者氏名 仲井、入江

受入希望国名	受入希望業種 <small>(現地公用語)</small>	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	Mechanic <small>(日本語)</small> 機械整備(冷凍空調)	(男) 1 人 (女) 人 <small>(どちらでも可)</small> 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): P.V.H.O, Mechanical Services.

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Mech, Services, Mzuzu Workshop 日本語名称 ()

所在地: P/BAG Mzuzu, Mzuzu, Malawi. 主要都市からの距離 (Mzuzuより 0 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

規模としては北部地之全体管理なので大。主として車輛関係。以外の何でも屋で病院・学校・空港・レストラン・ステイハウス等の保守及び修理。

ニ. 設備概要:

自立物はないが最低限のWorkshopの工具と冷蔵庫修理用具に溶接機一式。

(2) 隊員の業務内容:

まずは何でも屋と同じ位の内容だが、マラウイ政府建物の備品の保守及び修理で北部地は南・中部に比へて不便。特に電気設備がとほしいので病院・空港等ではセネラタでの自家発電。その為小のランプからセネラタ及びセネラタエンジンまで多量に富んでいる。特に冷凍空調関係の知識者がMzuzuには居ないので冷凍及び冷蔵庫の修理も大。

病院関係の仕事が多く、又急を要するので重責をみる。内容としては、小物のランプ等ベッド等の修理、消毒器修理、冷蔵庫、X-RAY、セネラタエンジン等

またこのWorkshopでは仕事にかかわる人並配置からスナップリーツ等の管理及び書類整理までやる事になるので日本ではなじみない管理者経験に接する。

1名は、Blantyre 勤務となる。

Blantyre では、牛乳保存用、チキン保存用冷凍庫、又給排水設備の設計の仕事もある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

冷凍空調技術者がごく小教でもあり(無同然) 有能な技術者がいない事から特にMech Services は色々な仕事を受け持っているせいもあり、1つの物と云うよりも多くの物に経験ある技術者及び管理者を求めている様子。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

冷凍空調関係の経験者で電气的知識のある者、機械的知識のある者

(ここでは冷凍空調だけでなく、セネラタ及びセネラタエンジン等も仕事に含まれるので)

大型洗濯機、乾燥機

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 年 月 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Honda Mechanics	(男) 1人	訓練開始 52年4月
	(日本語) 発電機修理	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 52年8月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Zambia Police, Ministry of Home Affairs

イ. 配属先名称 (現地公用語): Zambia Police Signal Branch
(日本語): 警察通信部

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 ()

所在地: ルサカ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: モーター、発電機、ポンプとして入機能を持つて、設備は2ハート、シフト、無線機、冷蔵庫、ガスコンロ、流し台、ガス電気溶接機、チェーンソー、その他種々の整備機が備わっており、また修理用車輜である UHF プロジェクタ 16台、自動始動式 ディーゼル発電機が

ニ. 設備概要: 英国より空輸され、使用10台本年度中に入る。

(2) 隊員の業務内容:

小型ポンプ、軽ディーゼル、大型^{各種}発電機、保守管理及び UHF プロジェクタ 供与、特殊ディーゼル発電機の改造、工作、溶接、ポンプ、チェーンソー、軽整備等の業務内容は広範囲である

Signal affair の下に各 Workshop があり、当該 Workshop はイギリス人技術者の下に数人のアシスタントがいて、アシスタントの技術レベルは低くアシスタントの指導に当たる

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

47年度第2次隊 森山隊員の交替で、人材技術者不足であることから、技術者の養成を含め、期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

隊員特に由緒が、専ら分野での実務経験2〜3年以上を要し、英語力は非常に重要であり、英会話、説明書と読解、英文等外国人並に要求される。協調性、富み専ら、運転免許は必須。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51 年 12 月 18 日

調査者氏名 伊藤 全紀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Electronics Instruments	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子(ラジオ、TV)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 2 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Department of Education and Culture

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ramon Magsaysay Memorial School of Arts and Trades
(日本語): ラモン マグサイサイ 記念 工業学校

ロ. 隊員勤務先名称: Ramon Magsaysay Memorial School of Arts and Trades 日本語名称 (ラモン マグサイサイ 記念 学校)
所在地: Iba Zambales 主要都市からの距離 (マニラより) 180キロ

ハ. 事業規模及び内容: 教育省下にある学校で、元々は 1912 年に Track 学校として創立した。1954 年に現在の形の工業学校になった。高校(中等)四年教育、大学二年コース、大学四年コースがある。総生徒数は 1600 名である。Zambales 地方の工業学校として 12 階建て。

ニ. 設備概要: 高校に 10 のコース(二年コース) 10 コースの専攻コースがあり、その中に電機科 3 コース(2 年)と 10 コースの専攻コースがあり、2 年コースが主体である。

(2) 隊員の業務内容: まず隊員は教師になる。これから他の電子科の支えと併せて 12 階建ての校舎、校舎の修繕等の責任がある。他に、この学校は予算があまりない。機材不足もあり、そのための負担している点がある。更に、学校には、この学校は協力隊派遣を要請が来ており、教育省の本部から来ており、そのための準備(協力隊を向かせる)も必要で、次に各項目ごとに。

- ① 電子科(二年の専攻コース)の教師であり、フィリピンの教師が 2 名いる。
- ② 電子一般について教える。特にラジオ、TV に詳しいこと。
- ③ 学校長や専攻コース主任や電子科の教員と話し、これから J.O.C.V の相談役になる。専攻コースの主任になる。
- ④ フィリピンの教師は 2 名で、大学卒業した教師としての資格をもち、電子の事について教えるが、技術水準は低い。ラジオの知識程度。
- ⑤ 機材は貧乏である。V.O.M (725-) / Signal Generator / Long wave 等の道具が少い。
- ⑥ Tol. ⑦ 英語、ほかの言語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上に書いたように突然の自分の調査の訪れであったため、しかし、若くはない。しかし、電子科は、フィリピンに貧乏であるため、その技術向上を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
隊員は電子一般について精通しており、高校又は大学の卒業が望ましい。特にラジオ、TV に精通しており、電子経験年数は 3 年以上、資格は電子技術士の人が望ましい。又、性格として協調性のある事、教師として教える経験がある方が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

330 建設機械

記入昭和 51 年 6 月 22 日

調査者氏名 志原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア 共和国	(現地公用語) Enseignement de la conduite d'engins de travaux publics et industriels	(男) 1 人	訓練開始 昭和 51 年 10 月
	(日本語) 建設機械(運転) - D(2)(1)	(女) 人	派遣予定 昭和 52 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministère des Affaires Sociales*
(日本語): 社会事業者

ロ. 隊員勤務先名称: *Centre de formation professionnelle* 日本語名称 (取業訓練センター)
所在地: *Tunis, Sfax, Gabes, Sousse, Bizerte, etc.* 主要都市からの距離 (Tunisより 900 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *Tunis 取業訓練センターの場合*
取業訓練センターには、建設機械運転コースがあり、担当教師は 3 人、1 年
か 3 学期に分かれており、各学期とも生徒数は 15 名。

ニ. 設備概要: 訓練に必要とする機材、車輛はフランス時代のもので一通り備わっている。
しかし古い。近代的建設機械の運転教育については設備不足。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位

取業訓練所の建設機械運転コースの指導員

② 技術の範囲

主として実技指導に従事することになり、理論を講義することもある。建設機械
は水利、道路等土木工事に使用される機械が主で、全て米国、フランス等からの
輸入品である。ごくわずかではあるが、日本の小松製も入っている。

③ 業務の形態

訓練生は 3 ヶ月単位で入れ替わる。毎回 13 2 15 人程度が対象。成金は当
初 Tunis 勤務が予定されたが、他の都市へ配属の可能性もある。

勤務時間は朝 8 時 ~ 夕方 6 時 (昼休み 2 時間)

④ 対象者及びからし - 10 - の技術水準、学丁及び年令

技術水準は全くの素人からある程度の経験者まであり、
学丁及び年令は 15 才 ~ 25 才。

⑤ 今のところ外国人の指導員はいない。

⑥ 使用する言語

授業は全てフランス語 (先方は高度な会話力とある程度の読解力を要求している)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国の方針として国民の技能力アップをあげている。その中には基礎知識もさること
ながら、新しい機械の運転技術を習得する訓練を行なわなければならない。
当国には訓練士 (建設機械運転指導者) に不足しており、日本からの隊員は
是れを安んずる技術者不足、人手不足の穴埋めとして期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学丁: 高等学校卒業以上、**取得資格: 大型特殊車輛運転免許**

実務経験: 5 年以上

運転指導員としての経験者であることが望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

①

~~33104ボイラー~~

記入昭和 57年 4月 21日

調査者氏名 伊藤健定 駐在員

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣員名
バングラデシュ	(現地公用語) Boiler Maintenance (日本語) ボイラー補修	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	伊藤健定
			訓練開始 年 月
			派遣予定 52年 2月
			受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Water Development Board, Ministry of Flood Control & Water Resources and Power. (日本語): 水資源開発委員会, 治水, 水資源, 電力省
- ロ. 隊員勤務先名称: Dredger Organization (日本語名称: 浚渫部門)
- 所在地: Dacca (主要都市からの距離 () より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

- ニ. 設備概要: 浚渫船(スチーム・エンジン) 2隻

(2) 隊員の業務内容:

- 1) 隊員の地位 } 作業部長 (Superintendent-operation) の位にて浚渫施設の
- 2) 業務の形態 } 操作 維持 補修を行うと共に、関連技術者の訓練を実施して行く。現地訓練を行う。現場技術者の技術向上を行う。
- 3) 技術の範囲: 浚渫施設 及び 関連施設 (steam engine を含む)
Forteen wheeler "D" type water tube boiler & Rev. switch margin flue tube boiler
- 4) 指導対象: 実習経験のある現場のボイラー技師
- 5) 使用可能機材: 修理工具は備置してあるが若干購入を要す。
- 6) ハンドル語使用を予めとす。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現場での日常作業を通じ、技師・職工の技術の向上を計ることを目的としてあり、隊員自身も、操作 維持 補修の作業の実施出来る人を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1) 超大半程度
- 2) 資格: 上記施設を取扱うに必要な資格・免許は必須である
- ② 実習経験: 3年以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

331 プラント機械

記入昭和 50年 9月 23日

< プラント機械 >

調査者氏名 小堀 泰之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語) - Dairy Plant -	(男) 1 人	訓練開始 51年 4月
	MECHANICAL ENGINEERING	(女) 人	派遣予定 51年 8月
	(日本語) 乳製品製造プラント管理技術者	(どちらでも可) 人	受入期限 51年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Livestock Development Authority (LIDA)

(日本語): 高産南産公社

ロ. 隊員勤務先名称: Mara Dairy Company Ltd 日本語名称 (マラ乳業会社)

所在地: ムヤマ(本社工場) ウテギ(工場) 主要都市からの距離 ムンザより240キロ

ハ. 事業規模及び内容: ムヤマ工場はテトラパック牛乳とバター、ウテギ工場は粉ミルクとギーを製造する。原乳処理能力は両工場ともそれぞれ 36000 LTP/day であるが実績は各々 10000 LTP/day 平均である。従業員数は General Manager 以下 205名 (別紙資料 1)

ニ. 設備概要: ティムブクトウの援助により建設された近代設備を完備した乳業会社である。ムヤマ工場には UHT プラント、ウテギ工場には粉ミルク製造プラントが設置されている。(別紙資料 2)

(2) 隊員の業務内容: ムヤマウテギ両工場に設置されている乳製品製造プラントの保守管理を担当する。両工場の Engineering 部門の全て (Plant Mechanic, Vehicle Mechanic, Cooling Centre 54+HT) を統轄する (In charge)。管理的業務の比重が高い。業務計画書の作成、設備の管理と調達、カウンセラーパートに対する技術指導等の仕事も重要である。

① General Manager に直属し、電気隊員とともに両工場の機械設備の保守管理について最高責任を分担する専門技術者である。(別紙資料 1)

② 発電機、ボイラー、コンプレッサー、各種ポンプ類、冷凍機、エバポレーター、乾燥機、UHT 装置、テトラパック装置等対象が多岐にわたるが、一つ一つの機械又は装置についてたとえ経験はなくてもこれらの有機的(総合的)な関連性を理解しておく必要がある。(別紙資料 2)

③ 電気隊員と協力して業務を実施する。しかし会社の Engineering 部門の In charge となるわけなので電気隊員よりは責任が重大である。

④ カウンセラーは Technical Sec. School 卒業生。修理については経験的に理解しているが、プラント全体を総合的にとらえ適性を保守管理を実施する上では不足とまだ感じている。26才

⑤ 両工場内に Workshop があり設備は完備している。(別紙資料 3)

⑥ 協力隊員 1 名のみ 48 歳 佐藤 富広 隊員 (電気) ⑦ 英語が主

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: タンザニア人による自主管理体制が整わねばならぬ。ティムブクトウ技術者が引き上げることになったため、現在会社には佐藤隊員以外は通常 Mechanic しかおらずのみにすぎない。ティムブクトウで研修を受けた者は Plant Manager として Administration 部門の業務についておられる。Mechanical Engineer としては空席にしておいた。会社側は以前から協力隊員に期待していた意向を表明しておいたが、ティムブクトウ技術者の引き上げを機会に今回の要請となった。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと): 乳業会社での実務経験者であれば困難である事務的な仕事も多いので英語の読み書きは必須である(機械の説明書が読める程度)
① 工業高専又は大学機械科卒業 ② 資格は特に要しない ③ 乳業会社の実務経験者は 2~3 年 (そうでない者は食品加工等の会社において機械全般についての知識や経験を有する者) (実務経験 3 年)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

350 自動車整備

記入昭和 52 年 10 月 8 日

調査者氏名 林 明生

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 <u>52</u> 年 <u>4</u> 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 <u>52</u> 年 <u>8</u> 月
	Auto Mechanic 自動車整備	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Education
(日本語): 教育部
- ロ. 隊員勤務先名称: Sibu Vocational School 日本語名称 (シブ 職業訓練校)
所在地: Deshor Road Sibu 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: Form 1 (中学)卒業生を対象とした年制の職業訓練校で地域社会への技術者供給が目的であるが今年には未だ開校し今年1年間のみである。自動車科の他、機械科 建築工科 電気科 空調冷凍科 タイヤ科 筆記科がある。
- ニ. 設備概要: 参考資料として機械肉訳と添付したが一応機械は揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位 Instructor
2. 技術の範囲 ガソリン、ディーゼルエンジンの修繕と有し自らの計画を立てられること
3. 業務の形態 1年生を中心とした教室ワークショップで理論実習教員と教える
4. 対象者 カントリーパーソン 対象は生徒 先生が少ない為 カントリーパーソンと教えるのは時間がかかるとはな
5. 利用する機械 充分揃っているが簡単な道具は必要になる
6. 利用する日本語 冷凍空調科にドイツのボウエンタイプがある
7. 使用する言語 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

日本の高い技術と取り組む姿勢からローカルスタッフに刺戟を与えたいと望んでいることである。特に自動車種が少なく整備の知識が乏しいので日本の自動車に関する知識がほしいと希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

自分は特に問われていないが教師としてガソリン、ディーゼルについて広く教えられる人、経験が2年以上あること (ディーゼルは経験に知っていること) 添削について知識があればいい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

350 自動車整備

記入昭和1976年12月11日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Auto-mechanic	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車整備	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 52年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語) *The Negeri Sembilan State Development Corporation*
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: *Agro-Industrial Training Complex* 日本語名称 ()

所在地: *Kpg. Ulu Geratam, Kuala Pilah* 主要都市からの距離 *Seremban* より 40キロ

ハ. 事業規模及び内容: *Negeri Sembilan*

The Negeri Sembilan State Development Corporation, The National Union of Plantation Workers, The Lutheran Institute of Vocational Education, の3つの組織体を母体として開設された学校であり、Fapu 3 卒業者、上級学校へ進出させた生徒に対し、職業的技術訓練を与え、実社会に役立つ人材を送り出す為の学校である。

(2) 隊員の業務内容: 1977年1月より開設された自動車整備科のworkshop 組織化

をするともに、生徒に対し教育も行くと同時に、現地教員と同じ立場にあり

月曜日～土曜日まで、7:30～4:30 (昼休み1時間、セミナー2回) まで、1日約8時間の実習を主体

とした授業を受け持つ。ほとんどの生徒が、技術的な一般知識がなく、その生徒に

対して教育を与え、整備士として行く為には、相当な努力が必要である

カウンタ-パートについては、学校側は強く要請しているが当初、隊員がその授業を

持つことにならなかつた。機材については、1976年11月現在もたかたか1カ、隊員着任

時点では、ほとんどの機材が整備している予定である。

この学校には、校長 Mr. Seth E. Ostling (スウェーデン人) 他にオーストリアの Volunteer

が 4 名 (Carpentry, ~~and~~ Electric shop, machine shop に配属されている。

現地使用語は英語である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地より経験豊富なスタッフが見過ごされたり、日本より

の Volunteer を求めたい。又教育活動に対し、情熱のある若者が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上、3級ガソリンエンジン 3級マシ-整備士以上

◎実務経験、4年以上

ディーゼルエンジンについては勉強したいことを望む。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年2月 / 日

調査者氏名 **大 樫 哲 生**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ザンビア	(現地公用語) Radio Engineer	(男) 4 人	訓練開始 52年4月
	(日本語) 無線通信	(女) 人	派遣予定 52年8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと
(1) 配 属 先 Ministry of Power, Transport and Works .			
イ. 配属先名称 (現地公用語): Post and Telecommunication Corporation			
(日本語): 電力運輸建設省 郵電公社			
ロ. 隊員勤務先名称: Mwembeshi Earth Station 日本語名称 (地上衛星中継所)			
所在地: Mwembeshi 主要都市からの距離 (ワカより40キロ)			
ハ. 事業規模及び内容:			
国際通信回線の保守サービス業務で現在5ヶ国のサービスを行っている総容量60チャンネルのうち既に50ch使用している。			
ニ. 設備概要: 送信電線72ch 放送1ch 受信6ルート固定マイクロルサカ地上局内約40km 無中継で2対向回線 搬送マイクロと衛星通信ハースバツ接続のコンソール 電源1バ=90W			
(2) 隊員の業務内容:			
1. 隊員の業務上の地位: NEC契約技術者の帰国に伴い導入で隊長工事主任待遇である			
2. 技術の範囲: 搬送マイクロ、衛星通信設備発電機、自動再発の初歩的知識の通信一般			
3. 業務の形態: 保守各装置の定期点検とザンビア人技術者と共に行う			
4. 対象者及びバックグラウンドの技術水準や歴及年齢: カウンターパートが7-8名勤務しており年齢は高卒程度年齢は20歳~25才 戻務経験が不足である			
5. 現場で利用出来る機械: 70MHz 中周波数測定装置1組(含む)マイクロ特性測定直視装置1組(含む) スパクトアナライザ1台(HP) ノイズ測定器1組、レベルメータ ATTオシロスコープ2組、SLM3台、49、69Hz オシロスコープ各1台、TELEX 信号発生測定器1組、TV信号発生器1組、オシロスコープその他			
6. 現場に於ける身元日本人及び米専州家の配置状況: 隊長が英国人コックラクター、搬送エキスパート1名 発電機その他にギアマン1名、J.O.C. の 倉田 佐々木両隊員が勤務している。			
7. 使用打言語: 英語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
地上衛星中継所はNEC契約技術者の帰国に伴い、目下最悪の状況(技術者不足)にありJ.O.C. に対する期待は極めて大い。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
学歴、戻務経験は特に問わないが無線技術2級程度の資格を有し通信一般の知識と応用力を備えている事。			

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

ハ(独)第51-40号添付

①

401 土木設計

記入昭和 51年 6月 20日

調査者 駐バングラデシ駐在員

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 派 伊藤 健 定
バングラディッシュ	(現地公用語) Soil Testing for building Construction (日本語) 土壌検査 - B	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 51年 10月 派遣予定 52年 2月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Urban Development & Public Works
(日本語): 都市開発・公共業者
- ロ. 隊員勤務先名称: Public Works Department 日本語名称 (公共業者)
- 所在地: Dacca 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: ~~同局は~~ 同局は 国内の各種 ~~建設業~~ 建設業を統括しての ~~事業~~ 事業
地においては、コンクリート、請負業者の指名制度を導入し大型工では
在銀、外銀、国建機団、外国政府機団からの財政援助と
ニ. 設備概要: 技術援助を得ている

(2) 隊員の業務内容:

- 1) 隊員の業務上の地位: 技師長 (公共業者) 及び 技師長補佐の如く、土壌検査技師
- 2) 業務形態: 主に 研究者の 実地指導と訓練を行う。
実習は Advisor としての如くである
- 3) 技術の範囲: 建築工場のための土壌検査、~~試験場~~ 試験場及び現場での
土壌検査指導 (研究、教育訓練、技術普及)
- 4) 技術者の技術水準: 理論面、教育訓練を主として技術者の人数は少ないが、この人
人は外国の教育をうけており、中には Doctor Degree を必要とせ
るとされている。
- 5) 使用言語: 専門用語は英語が導入されているが、現場の指導は、^語ベンガル語と
原則とす

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同局は、所管する業種拡大に伴い、専門技術者を増徴し、技師の不足
のため、現場での実地指導とあわせて、現地側スタッフの指導と訓練を求めている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1) 大学卒業以上
- ② 実習遂行に不可欠な技術資格・免許は必要
- ③ 実習経験 5年以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

403 測 量

記入昭和 52 年 1 月 10 日

調査者氏名 木内志郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Survey Instructor	(女) 人	派遣予定 1977 年 8 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 52 年 10 月迄に現地到着のこと
測量(教官)			

- (1) 配属先 Ministry of Landreform, H.M.G.
- イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Survey
 (日本語): **ネパール王国政府, 土地改革省, 測量局**
- ロ. 隊員勤務先名称: Survey Training Centre 日本語名称 (**測量訓練所**)
 所在地: Baneshwar, Kathmandu, Nepal 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: **別紙参照 (飯塚隊員調査報告書) (教科内容) 他.**
- ニ. 設備概要: **別紙及び写真集参照.**

- (2) 隊員の業務内容:
- ① 隊員の業務上の地位: **SURVEY INSTRUCTOR (GAZETTED III CLASS OFFICER)**
 - ② 技術の範囲: **測量全般について理論及び実技に精通していることが必要.**
 - ③ 業務の形態: **Senior, Junior, Amins の各コースに対し測量の理論及び実技と指導する一方、アドバイザー的な立場で教科内容の改善及び教官の指導も含まれることになる。**
 - ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準・学歴及び年齢
 : 指導対象の Amins コースは 10 年制 SLC (School Leaving Certificate: 合高校) 取得者で、
 年齢は 16 才 ~ 35 才位まで。Junior コースは、SLC 取得者で Amins コース修了後 5 年
 の現場経験で、SLC 取得者で Amins コース修了後 10 年程度の現場経験で、また
 Intermediate of Science 取得者がそれぞれ受験資格を得る。
 Senior コースは、Junior コース修了後 2 年程度の現場経験者と Bachelor of
 Science 取得者がそれぞれ受験資格を得る。この合格者が各コースの訓練に参加する。
 年齢は、Junior, Senior コースは Amins コースより高年齢者が多い。
 なお、教官については別紙リストを参照のこと。
 - ⑤ 現地で利用出来る機材: 別紙リストの通り。 ⑥ 職場における外国人の配置状況: **1 人教官 2 名の
 専門家として配置されているが 1977 年 10 月頃帰国予定である。**
 - ⑦ **ネパール語、専門用語は英語に精通していることが望ましい。**

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: **当協力隊は過去 5 年間にわたり測量局の地籍測量分野に協力活動を行って来たが、今年度の隊員派遣については検討を含め、過去 5 年間の総まとめとして昨年 7 月 9 日測量局長、測量訓練所長と
 合同した Survey Volunteer meeting と行った。この席上、隊員の業務対象者である Amins の技術水準の低さ、いわゆる精度の問題
 とその解決方法について問題提起され、特に精度の問題については測量訓練の方法等について問題があるのではなかろうかと指摘された
 経緯があり、その後測量局からの要請が发出されたものである。従って測量教官、活動を通してネパール技術者の測量技術の向上に資することを期待している。**

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で開示のこと):
測量上の資格を有すること。出来れば測量指導の経験あること。

大学卒 (測量関係学科) で 4 ~ 5 年程度の経験 (測量士又は指導者として) があり、年齢は 28 ~ 35 才より比較的高年齢者を望んでいる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51 年 4 月 5 日

403 測 量

調査者氏名 豊原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア 共和国	(現地公用語) Topography	(男) 1 人	訓練開始 昭和 51 年 10 月
	(日本語) 測量	(女) 人	派遣予定 昭和 52 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of public Works and Water Resources
(日本語): 公共事業水資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Irrigation and Hydraulic Powers ; Damascus 日本語名称 (かんがい水力課局)
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

国内の公共事業の元締めであり、日本の建設省に相当する。
事業内容は道路、橋梁、ダム、水路等の計画、設計、建設。

ニ. 設備概要:

建設機械、機材、器具等は一通り揃っているが、絶対数は少ない。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 測量技師
- ② 業務の形態: 現場が主で、それに付随する内業にも従事する。
- ③ 技術の範囲: 多角水準、平板、製図、現場杭設置等、地形測量が主で、写真測量以外は計算をふくめずに従事する。
- ④ 対象者及びカウルの技術水準、学歴及び年齢: 不明。
- ⑤ 現地で利用できる機材: ツアスロウルトの直読式ゼオドロイト、レベル等。(台数は少ない) (オト)
- ⑥ 職場に於ける日本人及び日本人専任者の配置状況: 日本人専任者はいない。他は不明。
- ⑦ 使用する言語: アラビア語
他にフランス語、英語も使用されている。
- ⑧ 要求される技術水準: 現場経験が深く、多角水準を始め諸計算ができること。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国で求めている協力とは実利と現実主義に基づくものであり、日本側が求めている理想主義との間に大きなギャップがある。これを克服するにはそれ相応の語学力、専門分野の実力と実務経験が必要である。受入部は奉仕ということに全く理解できないので、隊員が来てからと、それだけ彼等の仕事量が軽減されると考えているので、この点では期待してはならないことではない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴: 測量専門学校以上。 **取得資格: 測量士**
実務経験: 5年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

410 建 築

記入昭和 52年 1月 31日

調査者氏名 梶原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア 共和国	(現地公用語) Architecte Spécialisé	(男) 1人	訓練開始 昭和52年 4月
	(日本語) 410 建築家	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 昭和52年 8月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministere de la Jeunesse et des Sports*
(日本語): 青年スポーツ省

2. 隊員勤務先名称: *Direction de la Planification* 日本語名称 (計画調査局)
所在地: *et de la Recherche* Tunis 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 国内の諸スポーツ施設の調査、計画、設計、施工管理および
修繕。上記スポーツ施設には青年の家等鉄筋コンクリートやブロック積の建築物
を含む。建築家は15名程 現存するとのこと。

4. 設備概要: 設計用具、施工機械等一通りそろっている。
計算機が不足。

(2) 隊員の業務内容: 隊員の具体的な配属先は前記のとおり実力、経験によって決定されるのであり、
隊員の仏文履歴書を受領後、配属先におけるチュニジア人建築家の配属状況に依り、青年スポーツ
省人事課によって決定される。配属後の業務内容等は下記のとおり。

① 隊員の業務上の地位: 青年スポーツ省公務員、Ingénieur。(Ingénieurは地位が高く
行政官である。要注参。)

② 技術の範囲: スポーツ施設(含青年の家等の建物)の調査、計画、設計、施工管理、
修繕。主として設計と施工管理に従事するに重点を置く。

③ 業務の形態: 一応オフィス型であるが、施工管理のため現場へ出向くことになる。
当地の建築施工は非常に下土の厚く、また段取りがとて悪いので、設
計に十分な必要は履行されるには限らない。隊員は実地/限り建築物の
設計をその可能性が大きいのであるが、何時の日かその設計が目の目を見るのか
当地の現状である。(等)

④ 対象者及びからしむべき技術水準: 学歴は大学卒、建築家は皆プロフェッショナル大卒を
卒業している。技術水準は高いか、やる気は期待できない。年齢は22~50才。

⑤ 現地で利用可能な機械: 最低限のものがあるが、隊員の実力が認められれば更に
使用をせよとお願いできる。

⑥ 使用する言語: フランス語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

隊員は高度の技術と有るべき安んずる役務提供者として期待される。
建築家は予りほど不足に達しては来られない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○(学歴) 大学卒 (異才の指定事項) 取得資格: 一級建築士
実務経験: 3年以上。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

410 建 築

記入昭和49年3月8日

調査者氏名 吉村正秀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 49年9月
	Building Instructor	(女) 人	派遣予定 50年2月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Industrial Plantations, Forest Department, Ministry of Lands & Natural Resources.

イ. 配属先名称 (現地公用語): Chati Station, Kafubu.

(日本語): 土地資源省 木野庁 産業植林部

ロ. 隊員勤務先名称: Chati

日本語名称 (チャライ)

所在地: チャライ

主要都市からの距離 約200キロ

ハ. 事業規模及び内容: K.I.T.E. (Kafubu Industrial Timber Enterprise) の建築部門は急速な開発段階にあり 1973年に 16万立方メートルの材を産出した。

ニ. 設備概要: Some woodworking machinery

(2) 隊員の業務内容:

隊員は建築部門業務者の訓練計画作成と指導に専ら。柱と木造家屋の建築の作業研究と同様、柱、木造家屋、トラスのプレハブ作業研究を行う。木造家屋の製図、費用算出も従事する。

- ① 隊員の業務上の地位: 建築部のチーフの指揮下に入る
- ② 技術の範囲: 中小規模建築と大工に精通する事
- ③ 業務の形態: 上述の作業研究を行う同対。カレッジ・レベルの指導に専ら。
- ④ 対象者及カレッジ・レベルの技術水準等を含む年令: 青年 25才
- ⑤ 現地に利用出来る機材:

Ripsaws, planer, thicknesser, cross-cutter, various semi-mechanical tools.

- ⑥ 現場に於ける第三国人及び地味専門家の配置状況: スーパーバイザー、プレハブの技術者が加入している。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

建築部門は、伐採製材の増加に伴い住宅建築にも拍車がかかっている。プレハブ住宅、ホーム、トラス、フェリスの建築、内部建造 (Internal Building) を行っている。大工の訓練部門もある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

隊員は、中小規模の工事も3年の(経験)を有する事。大工を履かぬ。且、通常の木工機の保守管理が出来ること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

501 医

師

記入昭和

5年

6月

26日

調査者氏名

患原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア (現地公用語) Medecin pédiatre (日本語) 共和 医師(小児科医) - B(c)	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1	訓練開始 昭和 51年 10月 派遣予定 昭和 52年 2月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de la Santé Publique (略 M.S.P.)

(日本語): 保健省

ロ. 隊員勤務先名称: Institut National de Santé de l'Enfance 本拠名称 (児童健康研究所(国立))

所在地: Tunis, Mahdia, Monastir, Sfax, Gabes, Beja 主要都市からの距離 (Tunisより 250km)

ハ. 事業規模及び内容:

上記研究所のいづれに勤務するか未定であるが、各地の研究所は未熟児から12才児までの対象とし、入院収容能力は50~200名、外未定あり。Tunisの研究所は医学系、12才児以上は看護学の実習の場である。

ニ. 設備概要: 各研究所に病棟兼研究棟あり。内部設備は研究所とほぼ等しいが、フランス式の設備がなおおこなわれている。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の配属先は、隊員派遣時の現地人医師の配置状況、隊員の経験年数、得意分野等により左右されるので、隊員の仏文による履歴書を見て後、保健省人事局において決定される。よって隊員の業務内容について明確に記すことはできないが、おおむね以下のとおりである。

① 隊員の業務上の地位 — 医師

② 技術の範囲 — 新生児や乳幼児の診察、治療及び病状予防の予防接種の計画実施、麻酔師、看護婦、保育、栄養士等の指導監督。その他医療一般。

③ 業務の形態 — 当初は、1人1科(専門医、医学博士)やプロフェッサー(科長、若手医師の指導者)の指導の下に業務に従事することになる。業務が軌道に乗った後は、日本の診療、治療業務を行ないつつ、週一回のプロフェッサー等、週診につき、12才児等の検査にも協力することになるが、その能力は語学力、技術力の差に左右される傾向がある。

④ 対象者数からいふと、パートの技術水準、専攻及び年齢 — 殆どどの医師はフランスで教育を受けて、ヨーロッパ人と同等の医師の業務を有する。技術水準はヨーロッパと同等。フランス大学医学部の卒業生は一回生が卒業し、現在1年生中。

⑤ 取組むための外国人はフランス人医師が多い。他の外国人は少ない。日本の看護婦少々。

⑥ 使用する言語 — 記録は全てフランス語。会話はフランス語とアラビア語であるが、小児患者との間はフランス語は通じない。看護婦には通じない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国は医師の絶対数が少なく、人口約500万人に対し、医師総数は約600名である。保健省はヨーロッパ諸国から油断をきたした医師を高額で雇い入れている。日本の医療に對する興味を示すと同時に、協力隊医師の派遣に對しては、医師不足に對処する手段がりの対策として期待している。現在としては日本人医師は少ない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明なすこと):

○学歴: 大学医学部卒
○取得資格: 医師
○実務経験: 医師資格取得後2年以上 (在学中の実習期間等はふくまぬ)
○年齢: 不同

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 50 年 4 月 10 日

510 看護婦

調査者氏名 高橋成雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Nurse (日本語) 看護婦	(男) 人 (女) 1 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 5 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Mangyan Development Center
(日本語): マンキヤン開発センター
2. 隊員勤務先名称: Mangyan Development Center
所在地: Mansalay, Oriental Mindoro
日本語名称 (マンキヤン開発センター)
主要都市からの距離 マニラより 10 キロ
3. 事業規模及び内容: 少数民族マニヤン族の救済, 生活向上を目的に昭和42年設立
Center長はフィリピン人 Postma 神父, 資金はカソリック教会及び各国からの個人寄付による。
4. 設備概要: 診療所: フロアコンガス使用可, 雨期の排水道使用可, 夕刻3時間の電灯使用可。机, 付, 竹製ベッド, 薬品棚, 書籍棚。

(2) 隊員の業務内容:

- 1. 隊員の業務上の地位: マンキヤン族に対して現存疾病, 傷病等の手当を行なう上衛生知識を普及する。センター医療部門の責任者 (センターに医療関係者はいない)。
- 2. 技術の範囲: 一般的医学知識, 薬理学知識もふまえたうえで, 簡単な外科的, 内科的処置が施せること。さらに, 顕微鏡検査 (主に検便, 虫卵検査, 検痰; 結核菌検査) 技術を心得ていること活動に便利。
- 3. 業務の形態: 診療所にかかるとの技術を必要に応じて可能な限り駆使する。
- 4. 対象者数の概算: 診療の対象は推定3000~4000人にとれるマンキヤン族。カンパニートとして昭和49年12月にはアタタ2名, カンパニート1名はアタタにも診ない。
- 5. 現地で利用する機材: 江西ル煮沸消毒器, 顕微鏡, 各種医療器具, 材料, 薬品。
- 6. 職場における外国人等の配置状況: 協力隊員2名のみ。
- 7. 使用する言語: マンキヤン語 及び タガログ語
医療活動の対象となるマンキヤン族に英語は通用しないため, 訓練中は可能な限りタガログ語に習熟することを望まれる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

アメリカ式近代医学を誇る比国の医療も, 地方特に少数民族にまでその恩恵が及ばず, 多くのマンキヤン族が民間にお金を払って設立されたものであることから, 救済を求めた技術を提供する協力隊員に大いなる期待がかけられる。
新谷美子隊員 (48, 2次後期組) の要請。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 学歴: 臨床医学に関する学問を専攻し卒業したもの (大学又は専門学校卒業)。
- ② 資格: 保健婦, 助産婦, 看護婦, 医師のうちから。
- ③ 実務経験: 1年以上。内科, 外科等の専門は特に問わないが, 病院等設備が整った場所ではないので, 広範囲にわたる中での診療知識が求められる。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

7006 助産婦
510 看護婦

記入昭和

5月 6日 吉
佐原 裕樹

調査者氏名

希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ニジェール	Sage Famme	(男) 1人	訓練開始 昭和5年 1月
艾和国	看護婦(助産婦) - B	(女) 7人	派遣予定 昭和5年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

所属先

所属先名称 (現地公用語): Le Ministère de la Santé Publique (略 M.S.P.)
(日本語): 保健省

勤務先名称: Hôpitaux Nationaux ou Régionaux 日本語名称 (国立病院又は県立病院)
所在地: 未定 主要都市からの距離 (より キロ)

業規模及び内容: 国立病院又は県立病院勤務となるが、所属先未定故不明。

備概要: 所属先未定故不明。

員の業務内容: 隊員の所属先については、隊員派遣時の現地人助産婦の配置状況及び協力隊員の医療数、個人の経験年数等により決まるとして、隊員の松文優子君と受領後、保健省人事局において決定された。何人来るか不明である現時点で、隊員の席を空けておくわけにはゆかず、また、隊員の松子君について自叙の状態で勤務先を決定するのは助産婦としての人命を扱う業務では特に危険である。よって、業務内容について定かに記すことはできないが、おおよそ以下のとおりである。

- ① 隊員の業務上の地位 —— 産婦人科病棟における助産婦。
- ② 技術の範囲 —— 主に分娩介助、他に産褥室及び新生児(未熟児を含む)室における看護業務、家族計画指導。
- ③ 業務の形態 —— 国立病院の場合産科病棟は4単位に分かれている。1) 産室(産科科長が産科の掌衛) 2) 分娩室 3) 褥室及び病室 4) 新生児(未熟児)室。地方病院では規模が小さく、上記単位を組み合わせる単位ごとの配置となる。隊員は上記1) 2) 3) 4) のうち1つに付くが今のところ不明。勤務には昼勤、夜勤2 = 交代制をとる。昼勤は人数が多いが夜勤は少ない。
- ④ 知識・パートの技術水準、学工業 —— 当国の正規の助産婦及び看護婦(未)の教育程度、技術水準は日本より高い。しかし、准看護婦の水準は低い(日本より低い)。
- ⑤ 職場における外国人 —— フランス人医師が多い。フランス人以外の外国人は少ない。

希望の背景と受入国の期待: ⑥ 使用言語 —— 記録は全てフランス語、生活は仏語、英語。⑦ 現地で利用可能な機械 —— 病院には機械や器具が不足しているが、現地で必要とするものは何となく手に入る。⑧ 現地の教育環境 —— 隊員は彼等に対する実力、経験の必要を感ずる。看護婦は技術者不足、人手不足で穴埋めする役割提供を期待されている。

⑨ 資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
⑨ 学業: 助産婦学校卒、取得資格: 助産婦。
⑩ 実務経験: 助産婦として2年以上の経験(研修中の期間も可)。
地方都市勤務の場合、隊員への分娩介助を希望する。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

ハ(駐)ア51-6号 添付
(個) 1

610 司

書

記入昭和 51年 4月 17日

調査者氏名在バングラデシ駐在

受入希望国名 バングラディシュ	受入希望業種 (現地公用語) Tape Librarian (日本語) テープ圖書	受入希望人数 (男) 人 (女) / 人 (どちらでも可) 人	派遣 訓練開始 年 月 派遣予定 51年 7月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
--------------------	---	--	--

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Radio Bangladesh, Dacca, Ministry of Information & Broadcasting
(日本語): 情報、放送省、バングラデシ中央放送局

ロ. 隊員勤務先名称: Transcription Service, 日本語名称 (録音放送部)
所在地: Dacca市 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: "Radio Bangladesh" は情報放送省の監督下にある唯一の国営放送局である。録音放送部は Director と長とし、6スタジオ、テープライブラリー、集音録音機、指導訓練課等と有る。同部は音声ファイルを作成している。

ニ. 設備概要: 録音機、保存機、テープ、音声ファイルと交換している。

(2) 隊員の業務内容:

- (1) 隊員の業務上の地位
 - (2) 業務の形態
- 録音放送部はテープとディスクの書庫(library)を保持している。この書庫は国内放送局、音声ファイルの作成、諸外国の友好的放送局のファイルを作成している。又同部は地方放送局、外国放送局及び在外バングラデシ大使館に音声ファイルを提供している。
- 隊員は Director のもとで上記の書庫を良好に運営するために、書庫職員(女性)の指導(近代的、体系的)の方法を指導する(実地指導)。
- 3) 技術の範囲: 隊員はテープ及びディスクの音声ファイルの運営について経験を有すること。各種音声ファイルの分類、索引法、~~整理~~ 整理法、熱湿度等の技術的観点からテープと音盤の保存法について経験を有すること。
- 4) 現在の分野に外国人技師は参加していない。
- 5) どの程度に語使用を習得しているか

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

独立後、全国民に達する唯一のマスメディアとして放送事業の拡充が政府の重要政策の一つとして重視されている。上記のように地味にはあるが基礎的な分野に、近代的、体系的な方法を導入するために、協力隊員派遣を求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で示すこと):

- 1) 短大卒業程度
- 2) 特定の資格は必要はない
- 3) 実務経験: 1年以上、体系的な分類法、保存法を保持していることは必須であるが、library section の運営に必要とする組織運営の知識を有していることが必要で若干の社会経験を有していることが望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

(78)3

音 楽
650

記入昭和 51 年 4 月 19 日

調査者氏名 在バングラデシ駐在員

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣
バングラデシ	Staff Notation Training 音楽教育	(男) 1 人 (女) 人	伊藤健一 訓練開始 年 月 派遣予定 51 年 7 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語) Radio Bangladesh, Dacca, Ministry of Information & Broadcasting.
(日本語): 情報放送省, ハンガロテラ中央放送局.

ロ. 隊員勤務先名称: Transcription Service (日本語名称: 録音放送部)
所在地: Dacca 市 (主要都市からの距離: 約 100 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Radio Bangladesh は情報放送省の監督下にある唯一の放送局である。録音放送部は Director を長とし 6スタジオ、テープ・ラジオリ、楽器隊、譜記隊、訓練指導隊を有する。同部は音楽プログラムを

ニ. 設備概要: 製作 (録音機) とともに 在邦各国とプログラムと交換している。

(2) 隊員の業務内容:

1) 隊員の業務上の地位 } 隊員は Director のもとで 約 50 名の若い楽器演奏者と理
2) 業務の形態 } 論、実地両面での指導訓練をする。当国では楽器演奏
者には十分な準備がなされておらず、伝統的に口頭教授法による
楽器の演奏法を習得している。西洋楽器の演奏法についても
事情は同じであり、耳に頼る以外には、この人達から作曲を教習
させる必要がある。同部はこれらの障害を
解決するために訓練隊を新設し、50 名を定員 (譜記法の訓練と
行う予定である。

3) 技術範囲 隊員は音楽製作の技術的な水準をわけて、音楽演奏者として活動すること。
理論、実地両面での指導訓練。クラシック、ジャズ、Folk, pop music
についての経験を有すること。

4) 対象者 いずれも何らかの楽器演奏者であるが、伝統的な方法で個別に習得した人達
であり、譜記法についての訓練を受けたいことは、均等に教はねばならない。

5) 現地の各部門の外国人技師は参加していない。

6) ベトナム語使用を原則とする。

7) 機材打撃: エア、電機、木、ウエリ、ピアノ、サキソフォーン、ギター、ドラム、約 250 基所有

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

独立後全国民に達する唯一のマス・メディアとして放送業の充実が政府の重要施策の一つ
として重視されている。音楽演奏の充実も重要な施策である。楽譜の読み方、記入方法と演奏法
の演奏法が金銭的に入らないうちから普及して、演奏、作曲及び楽譜の音楽交流の面で大きな
障害となっている。隊員の指導による障害を克服し、本国音楽演奏の指導層を育成し、おとす
と期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について印で問うこと):

- 1) 短大卒以上
- 2) 教員免許 (音楽教育) があれば好ましい
- 3) 実務経験: 1年以上、組織の本整備の中で訓練部門の運営と従事したことがあること、
組織運営についての認識と持ったこと、若くは、社会経験を有すること
必要である。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 48 年 7 月 1 日

在エルサルバドル国調整部

650 音 楽

調査者氏名 望 月 久



受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
EL SALVADOR	(現地公用語) Violín o Violoncello (日本語) バイオリン または ヴィオロ	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 49 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): **Ministerio de Educación, Dirección General de Cultura**
(日本語): 文部省 文化総局
- ロ. 隊員勤務先名称: **Centro Nacional de Artes, Departamento de Música** (日本語名称 (国立芸術文化音楽科))
所在地: **San Salvador** 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 169年K級II次の唯一の総合音楽教育施設であり「音楽教育を通じて人間性豊かで創造性ある人間の育成」を目的としている。現在小中学生を対象に音楽学校の他、音楽高校、高等音楽学校がある。才要請分隊の隊員が派遣される場合は、新設の幼児学校を開校する計画
- ニ. 設備概要: 施設の設備は整っており、かつ現地在個人レッスン室等を構築中である。 (ある)

(2) 隊員の業務内容:

1. バイオリンの科目を専門と担当者 (双方で担当可能な者が勤務先としては科目専門を希望している) で十分な指導経験と有資格者を希望している。 具体的な要請内容は
 - (a) Suzuki Method を用いた幼児 (3歳~6歳迄) に対する指導
 - (b) 少人数 (1~2名) に対する Suzuki Method による指導
 - (c) 技術程度の進んでいる学生に対する指導
 (ある)
2. 赴任後は音楽科の教師 (Profesor または Profesora) としての地位を与えられ、現地人教師 (4名ほど) と共に、演奏器分野を担当することになる。
3. 現地で利用可能な機材としては、
 - (バイオリン 15 (サイズ 1/2 ~ 3/4 のもの)
 - (チェロ 6 (" 1/4 ~ 3/4 のもの)
 にだけあり、現地としては、バイオリン (20)、チェロ (10) の他、Suzuki Method 用楽譜及び CD の必要性を痛感している。
4. U.S.P. Corps 隊員 4名 (うち1名は近き帰朝の予定) がチェロ、木管、基礎テクニック、ピアノコンラリス等の分野を指導している。
5. 指導言語はスペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

大目的は上記(1)の「イ」の通りであるが、具体的には音楽的才能を有する者に対し、創造性ある豊かな音楽教育を示して更に音楽的素養を高めること、音楽教師 専門家を養成すること、これであり、この点に留意して指導者を我が方に要請していくものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 音楽大学又は音楽と専門に関する専攻学科を卒業した者。
2. 実務経験 2~3年で年齢は 25歳以上の者が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

650 音 楽

記入昭和 48 年 11 月 09 日

調査者氏名 花田真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) MUSICA (日本語) 音楽	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 6	訓練開始 48 年 4 月 派遣予定 48 年 8 月 受入期限 48 年 9 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO DE CULTURA, JUVENTUD Y DEPORTE
 (日本語): 青少年文化、スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: ORQUESTA SINFONICA JUVENIR DE COSTARICA 児童音楽院 (日本語名称)
 所在地: SAN JOSE 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ナショナルオーケストラメンバー 40 名 (外国人 25 名) と 210 名の
 児童オーケストラメンバーで楽団が構成されている。教師の
 大半がアメリカンヒースローで院長も音楽に対する専門知識は
 深い。
 ニ. 設備概要: 別添リスト参照。
 教材は生徒への借出し制にあり、約 250 名の生徒が自ら管理している。

(2) 隊員の業務内容:

上記音楽院において、6才から18才までの生徒210名を対象に各自の専門課程
 のクラスを受け持ち指導する。同学院の生徒は約3000人の中から選出された者で
 構成され、クラス活動形式により各自の学校から通って通学に通っている。生徒の
 練習時間は人教と施設の関係から週2回に行っているが、これらを除く時
 には個人レッスンやグループの指導を行う。その他、ナショナルオーケストラ
 メンバーとして月に1~2回コンサートに出場する。またオーケストラの要員として
 楽院長のインストラクターとして音楽教育の普及等につきアドバイスする。

- ① 業務上の地位 教師
- ② 技術の範囲 各自の専門指導と音楽教育に関するアドバイス及びオーケストラ要員として
 十分な役立ちの技術 (別添説明)
- ③ 業務の形態 生徒に対する実技指導と時に、院長のインストラクターに努める。
- ④ 対象者 6才から18才までの学生。カウンターパートなし。
- ⑤ 現地の機材 別添リスト。
- ⑥ 他国へ来た経験 アメリカヒースロー人、コルスタ、ロンホニスト、ヒリニスト、フルート、
 エルム、インフレス、ヒオラ。(これらも指導者として演奏者である。)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

・音楽教育の国民への普及と幼児教育による将来のオーケストラ要員養成の国民の
 教育水準の向上が目的であり、その一環としてスズキメソッドを利用して日本の音楽
 教育を取り入れる事に着眼している。しかし現段階では一般国民への音楽
 普及と幼児のオーケストラ編成に力を注いでおり、これらも指導できる実技のできる隊員に
 期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で開くこと): 大きな期待を寄せている。

- 専ら音楽学校卒業か、卒業見込みの者。
- 実際の楽器を演奏できる、オーケストラの一員としての実力を持つ者

※ 当国へのオーケストラの技術は日本より、個人レッスン教室の教授達へ楽団に
 近い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 51 年 7 月 15 日

650 音 楽

調査者氏名 花田真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
COSTA RICA	(現地公用語) CORNO, OBOE, FAGOT.	● ホルン ① 人	訓練開始 年 月
コスタリカ	(日本語) O-1.2. 音楽 (ホルン、ファゴット、オボエ)	● ファゴット ① 人 ● オボエ ① 人 (どちらでも 2 人)	派遣予定 年 月
			受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE CULTURA, JUVENTUD Y DEPORTE.

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO DE CULTURA, JUVENTUD Y DEPORTE.

(日本語): 青少年文化スポーツ省.

ロ. 隊員勤務先名称: ORQUESTA SINFONICA JUVENIL 日本語名称 (国立児童音楽院)

所在地: SAN JOSE (サンホセ).

主要都市からの距離 (上り キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ナショナルオーケストラ 40 名 (内大半が外国人) と 約 210 名の児童オーケストラメンバーで音楽院が構成されている。教師の約半分 (人数は常に変化) がアメリカビースコーである。音楽院長は生徒の教育には非常に情熱を持っており音楽に対する専門知識は深い。

ニ. 設備概要: 前回のリストを参照に願いたい。

(2) 隊員の業務内容: 上記音楽院において、6時から18時までの生徒約 210 名を対象 (各楽器の専門員に別人数は異なる) に各自の専門課程のクラスを支持し指導する。同学院の生徒は約 5000 人の中から選出された者で構成され、クラブ活動形式により各自の学校学習が終了後練習に週々来る。生徒の練習時間は人数と施設の都合により週 2 回が平均となるがクラス楽器により指導時間に多少の違いがある。これらの生徒に対し、個人レッスン、小グループ指導と行ったり個人ホルンの場合には生徒数が少ない。他の楽器のクラス編成と多少の違いがある。クラスの指導に関しては教師に一任されるので問題は少ない。その他、ナショナルオーケストラのメンバーとして 月 1-2 回、国立劇場におけるコンサートに参加する。その他の合同練習が週に 1-2 回ある。

① 業務上の地位: 教師並みにナショナルオーケストラメンバー。

② 技術の範囲: 各自の専門分野における指導と音楽教育に関するアドバイス及びオーケストラ要員としての十分な役立つ技術。(別添え不説明)

③ 業務の型態: 生徒に対する実技指導と音楽教育全般にわたる指導及びナショナルオーケストラのメンバーとしての合同練習コンサートへの出場。子供に対する指導は午後が大半である。

④ 対象者: 6時から18時までの生徒を対象とし、カウンターパートなし。

⑤ 現地機材: 別添えリスト

⑥ 地元のボランティア: アメリカ人が常に 10 名程度いるが人数は毎月変化する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 音楽教育の国民への普及と幼児教育における将来のオーケストラ要員の養成、及び国民の教育水準の向上が目的であり、その一環としてスチキートンを利用して、日本の幼児音楽教育を輸入する事に着眼している。しかし現段階では、一般国民への音楽普及と幼児のオーケストラ編成に力をいれており、これらの事を指導できる実技に自信のある隊員に期待を寄せている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

最大又は音楽学校卒業生か卒業見込みの者。

⑦ 実際にオーケストラのメンバーとして演奏できる人物、年齢は制限しない。

※ 当国のオーケストラ要員は、日本より 10 人レッスン教員が先達の集団程度であるがオーケストラメンバーは日本の地方オーケストラ (アロ) と同程度と思われ、(広島、山形県、オーケストラと同程度であろう)。

(補足)

谷川与志雄

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

781 日 本 語

記入昭和 50年 9月 10日

調査者氏名 若本 仁

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 51年 4月
	TEACHING JAPANESE LANGUAGE	(女) 人	派遣予定 51年 8月
	(日本語)	(どちらでも可) / 人	受入期限51年8月迄に現地到着のこと
	日本語教育		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): LANGUAGE CENTRE, MARA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
 (日本語): マラエ科学学校 語学センター

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)

所在地: SHAH ALAM, SELANGOR 主要都市からの距離 (クアラルンプールより 25キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BUMIPUTRA (先住民族) 約 20万人) 優先政策の中心であり、現在、SHAH ALAM MAIN CAMPUS, 45つの分校を合わせ、学生総数 9,000人。このうち 2,200名が語学センターで外国語を学ぶ。300名弱が日本語 (会話) を学んでいる。

ニ. 設備概要: 視聴覚教育機材 (LABO, PROJECTOR, TAPE RECORDER, VTR 等) がほとんど揃っている。日本の大学より設備、機材に因っては優れていると思われる。

(2) 隊員の業務内容

隊員は FULL TIME LECTURER として任務につき、最高週 16時間程度。現在語学センターは 8か国語 (MANDARIN, HOKKIEN, FRENCH, GERMAN, RUSSIAN, ARABIC, TAMIL, MALAYSIAN, JAPANESE) を提供しており、主に文科系 (商・法・ホテル観光学科) の学生 (18才以上) が、随時必修科目として外国語を学んでいる。

2年半コース (週4時間) と6か月コース (週25時間) があり、前者は在学学生、後者は卒業生、社会人に向け開講している。現在6か月コースは FRENCH だけであるが、来年度、MANDARIN, GERMAN, RUSSIAN, JAPANESE を開講される。授業内容は実践的会話が主で、特に後者に於いては新聞読解、商業通信文の書き方、政治経済、文藝一般に渡り講義と行われる。2年半コースは SPOKEN LANGUAGE コースと WRITING-READING LANGUAGE コースに分けて授業がなされている。

現在、LECTURER は、センター全体で 26名あり、内3名が日本語教育に従事している。全て日本人で、VOLUNTEER がふたり、契約ベースで女性1、男性2の割合。LOCAL STAFFS は欲しているが、獲得は難かしい。

日本語科も聴覚教育の確立をわたり、SOFTWARE の開発を著々と押し進めており、授業 BRANCH の参加が期待されている。教科書はこれまでに使用されてきた学友舎のテキストを廃止し、海外技術研修会協会の「日本語の基礎」を導入。最初の10月に25名が参加して2年2ヶ月でマレーシアの名大はマレー語化を進めているが、MILT は外国人 LECTURER が多いため、全て英語が使われている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

MILT は過去 8年間 VOLUNTEERS がはいつまでか、センターとして 3年契約ベースで STAFFS の確保を欲している。VOLUNTEER の任務のサイクルが 2年2ヶ月以内のものが、契約ベースの LECTURER の確保には、いろいろと難しさを覚えている。この中で、VOLUNTEERS は一番現実的な人員補給の道とされており、期待は大きい。現在 MILT には、総勢 40名に超える各国 VOLUNTEERS がおり、その待遇はよい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

- 大卒 (学部は問はず)
- 日本語教育 (DIRECT METHOD 法) の経験が豊かであること。好奇心が強いこと。
- 日本文化一般に渡り、広い知識を持っていること。(歴史、文芸、政治、経済等)
- 教壇に立つことが好きで、精力が十分に活動できること。
- 誰とでも差別なく接し、親切であること。忍耐強いこと。

782 理数科教師
日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51 年 7 月 19 日

調査者氏名 伴井 櫻井

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Secondary	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) Maths Teacher	(女) 人	派遣予定 年 月
	高校数学教員	(どちらでも可) 1 人	受入期限 2 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 教育省
- ロ. 隊員勤務先名称: Chiradzulu Sec. School. 日本語名称 (クラスW/セカンダリスクール)
所在地: Chiradzulu 主要都市からの距離 (アレンより 30 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

生徒数 250 人 教員 (校長含め) 7 人
Form I, II 2 級ずつ, Form III, IV 各 1 級

ニ. 設備概要:

1 棟 職員室 3 棟 教室 4 棟 寮

(2) 隊員の業務内容:

① 数学 (算数, 代数, 幾何) の教授を週 30 時間限位受持.

① 算数

{ 平面, 立体の面積, 体積の計算
比例, パーセントを使うの計算
三角法 など

② 代数

{ 文字式の計算
方程式の解法
因数分解
対数 無理数の計算 など

③ 幾何

{ (ユークリッド幾何学)
平行線の性質とそれを使うの証明問題
平面 (特に三角形, 平行四辺形, 円)
軌跡, 作図 など

④ 1 クラス担当の受持で 出席, 規律等監督などする.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

櫻井 隊員 交替

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒, 数学教員免状, 実務経験ある者が望ましい。

中退は受入確認の際困難を伴う。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51 年 4 月 14 日

調査者氏名 仲井儀英 早川

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Secondary Science Teacher	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 高校理科教員	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 52 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Blantyre Secondary School (B.S.S.)
 (日本語): ブランタイヤ セカンダリー スクール
- ロ. 隊員勤務先名称: ブランタイヤ セカンダリー スクール 日本語名称 ()
 所在地: ブランタイヤ 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 約 360 人 (Form I ~ Form IV)
 先生数 約 15 名

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

物理・化学の先生

授業内容 Form I ~ II 日本の 中学 3 年 高校 1 年程度

" " III ~ IV 高校 2, 3 年程度

生徒年齢 ... 色々 大体 15 ~ 21 才位

始業時期 (学期始め) 10 月

終 : (: 終り) 7 月

全学期は 3 学期に分割されている。 10 ~ 12 月 1 学期

1 ~ 4 月 2 "

4 ~ 7 月 3 "

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

理科教員不足
早川隊員交替要請。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒 理科教育実務経験者が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78501 体 育

記入昭和52年1月10日

調査者氏名 伊藤 勲

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Games Instructor	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 体育指導者	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 昭和52年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): National Youth Service (N.Y.S.)

(日本語): 国家青年奉仕隊

ロ. 隊員勤務先名称: N.Y.S Headquarters

日本語名称 (国家青年奉仕隊本部)

所在地: Ruaraka

主要都市からの距離 ナロビより 8 キロ

ハ. 事業規模及び内容: ケニア国土開発計画に従事する為 16才より30才までの青年男女を一般募集し、道路建設等に~~参加~~参加させつつ、職業訓練を行なおうというものである。

ニ. 設備概要: ナロビに本部及び中央修理工場、キルキルに訓練所、他でキルキル等にはキャンプがある。

(2) 隊員の業務内容:

NYSには現在まで4代に渡り体育指導者が派遣されている。業務内容は、ナロビ本部キャンプにいるNYS隊員に体育一般を指導すると共に、要請においてはキルキル訓練所等で体育指導を行なうこともある。このNYSの場合、ほとんどの隊員(ソクルトと呼ばれる)は体育訓練を受けた経験がなく、NYSも団体生活を行って居ることもあって、ある程度体育をリクリエーションと考えており、指導する側もこの点に留意する必要がある。

現在派遣されている中村隊員は主としてバレー・ホール、バスケット・ホール、ラグビー、サッカー、テニス・ホール、ハンド・ホール、ソフト・ホール陸上競技等を指導しているが、今回の要請は他に柔道の指導が出来ることが要請されている。柔道はNYS中央修理内の簡易道場等を利用して指導を行なうこととなる。なお練習に参加するものは全くの初心者であることに留意ありたい。

柔道を除くコースについては、NYS本部のスポーツ・オフィサーであるサザハシ氏と協力しながら指導を行なうこととなる。

(なお柔道は以前他の業種で派遣された隊員が余暇に指導を行なったこともある。)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

体育一般の指導については前記の通り過去4代にわたって隊員が派遣されて来たこともあって、引き続き日本からの協力を期待しており、柔道については最近ケニア柔道協会が発足したこともあって、NYSよりも参加を行なうことを望む声も多く、今回の要請となったものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

望むらくは体育大学卒業生で、体育教師免許状所持有者であること。柔道は有段者で2~3段位の段位所持有者であることが絶対条件である。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51年5月28日

78504 器械体操

ネパール調整員

調査者氏名

笠井 康雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派
ネパール	(現地公用語) Gymnastics (日本語) 体育(器械体操)	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 1976年10月 派遣予定 1977年2月 受入期限 52年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): National Sports Council
(日本語): 全国スポーツ評議会
- ロ. 隊員勤務先名称: National Sports Council 日本語名称 (全国スポーツ)
所在地: Kathmandu 主要都市からの距離 (同 市内)
- ハ. 事業規模及び内容: 文部省下におり、スポーツ関係全般にわたる振興及び普及に努めている。但し、国民生活水準、教育水準とそれ低く、スポーツにまで体力をとどくことは、困難。従って、スポーツ人口は、きわめて少ない。
- ニ. 設備概要: 体育館 (バドミントンコート三面) 卓球場 (6台分) 50x11m 建築中
器械体操場 (11m x 6m きわめて狭い)

(2) 隊員の業務内容:

学生、一般社会人、スポーツ評議会、およびその他 (実際には男子で年齢 10才~22才、平均 15才、中産階級以上) に器械体操の実技、理論を教える。トレーニングスケジュールは、隊員が立案し、同評議会の承認を得る。現在は、同評議会には、警察、軍隊から生徒が派遣され、指導を受けている。当国は、学校体育も、職場体育も、ほとんど普及していない。ネパール人の体力、技能は、非常に低く、参加者の技量のレベル差が大きい。さしに参加者は、時に5~7人、10人、20人、これを不統一の生徒達に、手順よく、効果的なる指導カリキュラムを組んでゆかむが、運営の面で、隊員の力量が期待される。今後の課題は、底辺の拡大 (主に学校体育の普及) については、対抗試合の指導) である。更に、ネパール人コーチを日本への研修員として、参加出来るまで、レベルアップすることである。

- ① 業種上の地位はコーチ
- ② ③ 器械体操の実技理論指導及び普及
- ④ カウンターパートは、いないが、森隊員より統制している生徒が5人いる。彼らを育てあげると意義あり。
- ⑤ 器具類は、JOCV 機材供与あり充分である
- ⑥ 卓球 (中国)、トランプ (JOCV)
- ⑦ ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

学校体育が無く、スポーツ振興、普及は、乏しい。まずネパール人全てが小学校教育を受け、そのカリキュラムに、体育をくりに、基礎をつくり上げて、本来の隊員の活躍が期待される。当国のように、生活水準が低い場合、スポーツ普及以前の肉題が多い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

体育の理論、実技の指導が出来ること、基礎のわかる人々に、教えるのであるから、管理面も必要。教育学部系、体育学部系卒業者が、のぞましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51 年 4 月 6 日

~~785 体~~ 育

調査者氏名 真原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア 共和国	(現地公用語) Field Gymnastics	(男) 人	訓練開始 昭和 51 年 10 月
	(日本語) 体操	(女) 1 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 昭和 52 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 教育省

ロ. 隊員勤務先名称: Physical Education Department (日本語名称: 体育局)
所在地: アレクポ (女子体育専門学校) 主要都市からの距離 (バスより 350 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

女子の体育教師を養成する専門学校、生徒数約 300 名

ニ. 設備概要: 体操専攻コースには一応全ての機材が備わっていること

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位:
体操教師

② 技術の範囲:
実技面におけるコ-4 方法と理論に明るいこと。

③ 業務の形態:
女子学生に対し主として実技面の指導に当る。講義をするところもある。
言葉のバリエーションがなければ、同僚教師と併せてカリキュラムの作成をする。

④ 対象者及びカリ-110-トの技術水準・学工廠及び年齢:
対象者は、高校生の 18~20 歳の女子。
カリ-110-トについては不明。

⑤ 現地で利用できる機材:
器械体操用具一式。

⑥ 取場におけるオ-3 国人及び日本専門家の配置状況:
なし。

⑦ 使用する言語:
アラビア語、フランス語、英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

教育者の方針として教育界への女子の進出を目標としている。(しかし、当国では女子がコ-4 級に進出した学工廠は浅く、指導者が少ない。今後の体操教師育成のために、日本からのレベルの高い体操教師派遣に大きく期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学工廠: 大専卒 (なるべく体育学部出身)

取得資格: 中学までは高校教師免許

実務経験: 年数は内々だが、実際に体操を指導し、教える経験があること。

28504-2

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51年 8月 9日

調査者氏名 豊原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア 共和国	(現地公用語) Gymnastique (日本語) 785-体育(器械体操)D(1)	(男) / 人 (女) / 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 昭和 51年 10月 派遣予定 昭和 52年 2月 受入期限 年 月 日に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de la Jeunesse et des Sports

(日本語): 青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: (2) 隊員の業務内容参照 日本語名称 ()

所在地: Tunis (1名), Kassar-Said (1名), Sfax (1名) 主要都市からの距離 (Tunisより約300キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

(2) 隊員の業務内容参照

ニ. 設備概要: 各配属先との相違があるが、各配属先とも国際基準の体操器具が一通り揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の具体的配属先は、隊員のたゞ実力、経験によって決定されるのであり、隊員の仏文履了書を受領後、派遣時における予三国出発の指導員、チュニジア人指導員の配属状況により、青年スポーツ省人事課によって決定される。当方には人事権はない。現時点で予定される配属先及び業務内容は下記の通り。

- ① (イ) Tunisie トヨタ4-6の1-4名。身分はEntraîneur。
トヨタ4-6のレベルに高度な実技・理論を指導する。20-30人。
- (ロ) Institut National des Sports の教師1名。身分はProfesseur。
3年制の体育教師養成学校(生徒数1学年250人)において、器械体操の理論と実技を教える。また校内の体操クラブでより高度な実技の指導を行う。
- (ハ) Ecole Normale de Maîtres et Maîtresses d'Éducation Physique et Sportive (Sfax) の教師1名。身分はprofesseur。2年制の体育教師養成学校(生徒数1学年200人)において、器械体操の理論と実技を教える。副次的には校内の体操クラブでより高度な実技の指導を行う。
- ② 隊員は実技の実力がさることながら、上記(ロ)(ハ)の場合には、一般スポーツ理論、生理学、指導法等にも明るくなければならぬ。また先方の情報を得るために履手として実技が要。
- ③ 体操指導員は中国から専属の通訳つきで派遣されてきていた。
- ④ 使用語言はアラビア語、フランス語。(ロ)(ハ)は高度の語学力が必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

スポーツ好きの国民性及び政府の方針としてスポーツ振興に力を入れている国でありながら、高度の技術と有るスポーツ教師、スポーツコーチに不足している。隊員は高度の技術と有る安んがりの役務提供者ということでの期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

①(学): 大学卒 (ロ、ハ)は体育学部卒) 取得資格; (ロ、ハ)は教員免許。
実務経験: 後述に器械体操を指導した経験と有ること。

選考時代に団体に出る等の最低程度の実績とすること

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 48 年 11 月 29 日

~~785 林~~ 育

調査者氏名 花岡真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) GIMNASIA DE APARATOS	(男) 1 人	訓練開始 48 年 4 月
	(日本語) 器械体操	(女) 1 人	派遣予定 48 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 48 年 9 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): **MINISTERIO DE CULTURA, JUVENTUD Y DEPORTE** (CULTURA)
 (日本語): 青少年文化・スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: **UNIVERSIDAD DE COSTARICA** 日本語名称 (コスタリカ大学)
 所在地: **SAN JOSE** 主要都市からの距離 (約 2 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 総合大学であるが、体育学部の生徒は 2000 人中 80% の在籍
 1200 人。4 年制の大学で卒業した者まで入る。この校舎を
 修得し、内容は好む。

ニ. 設備概要: 体育館、柔道場、テニスコート等が、器械が不足している。
 設備の管理状況は非常に良く、マットも手製ではあるが、14枚ある。(40枚別添)

(2) 隊員の業務内容:

・上記大学において教育学部、体育学科の教員として約 80 人の生徒 (男子 70%、女子 30%)
 に器械体操の授業を指導する。授業の他に放課後はクラブ活動も指導する
 こととなるが、システムは日本の大学制度と比べて異なることとなる。
 授業時間は別添カリキュラムの通りであるが、1 時間を 50 分単位とし、週に
 平均 10 時間から 12 時間の授業を受け持つ。(週 6 日制)

- ① 業務上の地位 …… 教師
- ② 技術の範囲 …… 器械体操全般、その他体育教育に関する知識
- ③ 業務の型態 …… 学校の授業及びクラブ活動
- ④ 対象者 …… 大学生。カウンターパートは、学校の先生で、良いか、学生の中から選出。
 将来の教師として養成が望ましい。技術水準は低い。
- ⑤ 現地の器材 …… 手製マット、10枚、手鼓跳箱。(脆弱であるが使用可能)。安全マット 3枚
 マットはすべて、1.2m x 2m。
- ⑥ 他国の事例 …… 無し。
- ⑦ 使用言語 …… スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

体育教師の養成及び体育教育の一般普及がその目的であるが、中には、スポーツ
 選手、養成も含まれる。中米において先ず、エルサルバドル国が日本の協力隊において
 体育教育の手助けを普及の年を求めていることあり、今回も要請の多い
 隊員に対する期待は非常に大きいものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

教員免許を絶対条件とすることはできないが、これを確実に持っているという点から
 必要条件とする。経験年数は高校、大学を通じてクラブ活動に携わった者。

年齢 大卒

※ 教育機関への配属という観点で、選考に際しては考慮される。

78505 水 泳
青年海外協力隊派遣受入希望調査表

~~785~~ 体 育

記入昭和 50 年 7 月 1 日

調査者氏名 倉原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Natation	(男) 1 人	訓練開始 年 50 年 10 月
	(日本語) 水 泳	(女) 人	派遣予定 年 51 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de Jeunesse et des Sports
(日本語): 青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: 未定 日本語名称 (未定)
所在地: 未定 (当初は Tunis にある可能性大) 主要都市からの距離 (Tunis より 25km 程)

ハ. 事業規模及び内容:

配属先未定故不明

Tunisie 内の水泳人口はそれほど多くなく今後振興の要ありと聞く。

ニ. 設備概要:

配属先未定故不明

Tunis 市内には地中海オリムピックプール (50m) (6000人収容)

(2) 隊員の業務内容:

「があるが」現在とは異なる利用をされている。

隊員の配属先は、その実力、経験、得点と下の分野によって決定し、訓練中に履修者と受領後、派遣時におけるオーストラリアからの指導員との話し合いによって決定される。現時点における要請をあまりに求む、オリと国境と、融通がきかなくなり、派遣時点での食い違いが生じ、本邦での募集に差し障りが生ずるので、青年スポーツ省は柔軟な態度で臨み、当初はハイオプの配属を考えている。(中略)

隊員の業務上の地位、業務の形態は Entraîneurs (コ-4) である。また 12 月 20 日 4-6 のレベルの指導にあたり、配属先によっては体育専門学校や師範学校において講義、実地指導にあたることになる。技術の範囲としては、理論、実技、救助法に明かしく、水泳指導の経験を有するものが望ましい。

青年スポーツ省は中国等から水泳コ-4の派遣を望んでおり、隊員派遣時にはこちらオーストラリアの派遣指導員と競合の可能性は大である。アメリカ、ヨーロッパ等協力隊、難民団体から水泳コ-4派遣は今のところない。

使用言語はフランス語、アラビア語だが、指導対象者は都市部の若人が多いのでフランス語が主になる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

スポーツの国民性、スポーツがレジャーの主要印を占め、政府がスポーツ振興の力を入れている。当国では、プロスポーツコ-4は不足しており、隊員は安易に役務提供者ということでスポーツ省の期待は大である。現行、舊日の愛国に及ぶとはいえず、かつての栄光の日本水泳界に対する当国の期待感はまだあてたばかりではない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明記のこと):

学歴: 不問 取得資格: 不問だが、日本の教員免許所持者が望ましい。

実務経験: 後述の水泳の指導に経験を有する者 (理論 R. 実技)

年齢: 体力に応じた若者が望ましい (25才以下)

その他: 実力のあつた若者が望ましい。自己を知り相手を理解できる性格の人物

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

785 体 育

記入昭和 51 年 7 月 21 日

調査者氏名 恵原裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア共和国	(現地公用語) Tennis de Table (日本語) 785 体育(卓球)-D(2)	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 昭和 51 年 10 月 派遣予定 昭和 52 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de Jeunesse et des Sports

(日本語): 青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: Institution d'Enfance et de Jeunesse. 日本語名称 (国立青年の家)

所在地: Tunis 他

主要都市からの距離 (Tunisより⁰〜500キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

青少年が集う青年の家。各種の文化及び体育のクラブ活動を行う。各地、各国の若人が安い費用で宿泊することもできる。

ニ. 設備概要: 地域により大きな差がある。隊員は大都市の設備のととのった青年の家に配属が予定される。

(2) 隊員の業務内容: 青年スポーツ省では卓球指導員として、中国へも大量の人員の派遣を申し入れており、JOCV隊員到着時のチュニジア人、中国人指導員の配置状況により JOCV隊員の配属先及び具体的業務内容を決定し指示するので、現段階で業務内容を定かに記すことはできない。予定どおり上記へ配属された場合の業務内容を以下に記す。

① 隊員の業務上の地位。

青年の家の指導員(卓球を通じて) (身分は animateurs)

② 技術の範囲。

Animateurという立場上、青少年の指導という心理学的な要素が必要とする。専ら家への指導ではなく、一種の遊びとして卓球を指導する。卓球に関する実力、選手経験、実績を必要とするとは言ってもない。

③ 業務の形態。

青年の家に集う若者たちのクラブ活動の一環として、卓球を指導する。またスポーツを通じて青少年の健全な育成をはかる。

④ 使用する言語。

フランス語、アラビア語(東京での訓練はフランス語)。若者と語り合うことが業務の一部となるので、語学の素養が必要とされる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

スポーツ好きの国民性、及び政府の方針としてスポーツ振興に力を入れている国でありながら、高度の技術を有するスポーツマンは少ない。隊員は高度の技術を有する青少年指導員及び安心がりの役務提供者ということになり、スポーツ省の期待は大である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学卒 (学部は内々) 取得資格: 教員免許
 ② 実務経験 (卓球) 試合実績 (卓球)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

785 体 育

記入昭和 51 年 7 月 21 日

調査者氏名 恵原裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア共和国	(現地公用語) Tennis de Table (日本語) 785 体育(卓球)-D ⁽¹⁾⁽²⁾	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 昭和 51 年 10 月 派遣予定 昭和 52 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de Jeunesse et des Sports

(日本語): 青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: Ecole Normale de Maîtres et Maîtresses (日本語名称 (国立体育学校))

所在地: Sfax の予定 主要都市からの距離 (Tunisより300キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

国内の体育教師を養成する 2年制の学校。生徒数 (学年 200名)。学生は体育全教科の実技、理論及び生理学、教育学等ヲ学ぶ。

ニ. 設備概要: 日本の短期大学程度。

教室、体育館、グラウンド etc.

(2) 隊員の業務内容: 青年スポーツ省では卓球指導員として、中国へも大量の選手の派遣を要請しており、JOCV隊員到着時の、チュニジア人、中国人指導者の配置状況により、JOCV隊員の配属先及び具体的な業務内容と決定し指示するので、現段階で業務内容と定かに記すことはできない。予定どおり上記へ配属された場合の業務内容を以下に記す。

① 隊員の業務上の地位。

体育学校の卓球教師 (身分は Professeur)

② 技術の範囲; 卓球実技及理論。

Professeurという立場上、教壇に立つことがあるので、実技の実力もさることながら、スポーツ理論、生理学、指導法等にも明るくなければならぬ。また同僚教師や学生への信頼を得るために、選手生活時代の実績が要る。

③ 業務の形態; 全生徒の正課の一環として主として卓球の実技と理論を教える。副次的なものとして、校内の卓球クラブにおいてより高度な実技の指導を行なう。

④ 取場におけるオミ国人及び日米専門家の配置状況; 中国より派遣された専門家が専属の履読つきで指導している。日米の専門家はいない。

⑤ 使用する言語: フランス語、アラビア語 (訓練所ではフランス語と学生がよい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

スポーツ好きの国民性及び政府の方針としてスポーツ振興に力を入れている国でありながら、高度の技術と有するスポーツ教師、スポーツコーチに不足している。隊員は高度の技術と有する安あがりの役者提供者ということとしてスポーツ省の期待は大である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学卒 (体育学科) (professeurという立場上必要)

取得資格 教員免許 実務経験; 後述の卓球を指導した経験と有すること。

年齢; 22才以上 (学生は 18~21才)。

合計

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

< 体 育 >

記入昭和 50 年 7 月 / 日

調査者氏名 東原裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
チュニジア	(現地公用語) Volley-Ball	(男) 1 人	訓練開始 昭和 50 年 10 月
	(日本語) バレーボール	(女) 人	派遣予定 昭和 51 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de Jeunesse et des Sports

(日本語): 青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: 未定 日本語名称 (未定)

所在地: 未定 (当初は Tunis にある可能性大) 主要都市からの距離 (Tunis より 200 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

配属先未定故不明

Tunisie 内のバレーボール人口はそれほど多くなく、今後振興の要ありと聞く。

ニ. 設備概要: 配属先未定故不明

Tunis 市内には地中海オリムピック建設され立派な体育館 (5000 人収容) が有る。

(2) 隊員の業務内容: だが、現在のところバレーボールはあまり利用されておらず。

隊員の具体的な配属先は、実力、経験年数、派遣時における才三国からの指導員とのかかわりにより、訓練中に随時書を受け、スポーツ省によって決定される。

現時点における要請をあまり大きく取りと固めると融通がきかなくなり、派遣時点で食い違いが生じ、本邦での募集に不利を生ずるので、青年スポーツ省は柔軟な態度で臨み、当初は 10 人程度の隊員と考えている。

隊員の業務上の地位、業務の形態は Entraîneurs (コ-4) である。実力経験によりは、ナショナルチームのメドレーの指導員にあり、まれの場合には、体育専門学校、師範学校において、講義、実地指導にあたること/ある。技術の範囲としては理論、実技と幅広く、バレーボール指導の経験等を範疇から望まれる。

青年スポーツ省は、中国等からのバレーボールコ-4の派遣を望んでおり、隊員派遣時には、こちら才三国からの派遣、指導員と競合の可能性が大である。アメリカ平和隊隊等協力隊類似団体からのバレーボールコ-4派遣は今のところない。

使用する言語はフランス語、アラビア語であるが、指導対象者は都市部の若人が多いので、フランス語が主となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

スポーツ好きの国民性であり、スポーツがレジャーの主要部を占め、政府がスポーツ振興に力を入れている当国では、このスポーツコ-4が不足しており、隊員の需要の増大を期待していることと、スポーツ省の期待は大である。在留の長い、実力 No. 1 の日本バレーボール界を理解している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴: 不問 取得資格: 不問だが日本の教員免許所持者が望ましい。

実務経験: 後述にバレーボールを指導した経験と有ることを (理論及実務)

年齢: 体力的にみて若い方が望ましい。(25才以下)

その他: 包容力の長であることが望ましい。已を知り、相手を理解できる性格の人物。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 50 年 4 月 10 日

78511 重量あげ

調査者氏名 中野 勝安

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 大	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 51 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 UNVERCITY OF THE PHILIPPINES

イ. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTMENT OF PHYSICAL EDUCATION
(日本語): フィリピン大学 体育学部

ロ. 隊員勤務先名称: " 日本語名称 (")
所在地: U.P. DILIMAN, QUEZON CITY, PHILIPPINES 主要都市からの距離 (マニラより 20 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 大学は 11 の学部の他に附属小学校・高校を持つこの国唯一の国立大学である。本校の他に 4 個所の分校 (仰光、ロビンソン、バギオ、ダバオ) 本校学生 約 10000 名 教授(助教授) - 250 名 講師 - 120 名 従業員 500 名以上を持つ一種独特の社会を形成している。数々の附属小・中・高を経て授業 (クラブ活動) として登録されている

ニ. 設備概要: 運動部: バスケットボール、バレーボール、サッカー、体操、柔道、水泳、バスケットボール、ソフトボール、バドミントン、ゴルフ、テニス、陸上競技、テニス、特にバスケットボール、バレーボールは盛んである。設備内訳は、体育館、ウェイトリフティング、プール、水泳プール

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 当大学の体育学部専攻の学生 (18 名) の附属高校生に対して、授業の一環としてウェイトリフティング (整骨) の実技指導を行うと共に、クラブ活動の面倒も見ると。昨年 (1974 年) 11 月から発足した。最初はクラブ活動からスタートの予定。
- ・ 隊員の業務上の地位は特別講師 (コンサルタント)。体育部の会議に出席、場外では現地の説明意見書も提出。
- ・ 体育学部のスタッフ構成は教授 11 名、講師 12 名、コンサルタント (特別講師) 10 名 (現在隊員 3 名) 計 33 名
- ・ 重量挙げについては、基本体力を築くことからスタートして、スナッチ、クリーンの基本技を指導し、徐々に記録を伸ばして行く。ウェイトリフティングは先に併用してトレーニングする。発足して日が浅いため、指導者は外部 (空軍) から臨時 (2 週) に来た (ライオン級 MR 741) その他 PR. APARICIO H. MEQUI (特別講師) が 2 週、講義している。授業時間 月水金 午後 2 時 ~ 午後 6 時、木土 (クラブ活動)。整骨用ベルトの試みは使用していない (試み)
- ・ 現在カウンターパートはいない。隊員が赴任するまで PR. APARICIO H. MEQUI は発援しておけるが、別期には方が良い。隊員の指導に物中から選んでそれが覚悟、アサインして大学の職員に採用される。
- ・ 機材は、世界重量挙げ協会公認のバーベル、シャフト、その他ウェイトリフティング用バーベルセット (数セット)、ベンチプレス用台、スクワット用台 (木製)、鉄アレン (数セット)、重量挙げ競技台 (公道)。その他ウェイトリフティング用機材 (背筋器の用脚)
- ・ 現在生徒の技術は基礎フォームの練習のみ。(スナッチ 50kg、クリーン 70kg 程度)
- ・ 言語は英語。大学高校ではすべて英語で授業を受けている。その他タガログ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大学においては、厳しい訓練をしながら身心を磨くことを目的としており、昨年 10 月マニラにおいて、世界重量挙げ選手権が行われた機会に一般市民にも観戦され初めた。大学側からでは、フィリピンがウェイトリフティングを教員が興味を示し、解任、設立の運びがある。MEQUI 教授の意向としては、一般市民向けにはウェイトリフティングを主として指導してからの、機材、クラブ活動については、主に重量挙げの指導を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ・ 大学時代 ウェイトリフティング部において各大会に出場経験があり、出場した場合は体育学部専攻作者が望ましい。
- ・ ウェイトリフティング、ウェイトリフティング歴 3 年以上 (出場した) スポーツホルダー在籍者。
- ・ 食物による筋肉のつけ方の本を熟読。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78601 柔 道

記入昭和 50 年 4 月 10 日

調査者氏名 中野 勝安

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 5 年 2 月迄に現地到着のこと
JUDO COACH. 柔道指導			

(1) 配属先 UNIVERSITY OF THE PHILIPPINES

1. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTMENT OF PHYSICAL EDUCATION.

(日本語): フィリピン大学 体育学部

ロ. 隊員勤務先名称: " 日本語名称 ()

所在地: U.P. DILIMAN, QUEZON CITY PHILIPPINES 主要都市からの距離 (マニラより 20 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 大学は 11 の学部その他に附属小学校・高校を持つ、この国唯一の国立大学である。本校の他に 4 箇所
の分校 (パナシ、ロバ、セブ、ダバオ) 本校学生約 10,000 名、教授 (助教授) ~ 250 名、講師 ~ 120 名、従業員
500 名以上を持つ、一種独立の社会を形成している。当大学が附属小学校・高校において授業 (クラブ活動) として登録した

ニ. 設備概要: 1. 運動部は柔道、他、バスケットボール、バレーボール、サッカー、テニス、水泳、バドミントン、ゴルフ、ダンス
下等、陸上競技、特にバスケットボール、バレーボールは盛んである。設備は体育館の中、柔道場 (40 畳)、運動トラック、その他

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 当大学の体育学部専攻の学生 (150 名) に対して授業の一環として柔道の実技指導を行うと共にクラブ
活動 (週 2 回) も全面的に面倒みる。技に関しては基本技、立技、寝技
- ・ 隊員の業務上の地位は 特別講師 (コネサタント)
体育学部のスタッフ構成は、教授 11 名、講師 13 名、コネサタント (特別講師) 10 名 (現在 JOCV 隊員 3 名)
計 34 名。

・ 技術の範囲: 授業日数は 1 週間 (週 2 回のみ) と限られているため、初階級内での指導をおこなうと
受身、基本技 (5 技)、足の運び形、面取、上達の早、着に対しては絞、関節技まで授業
クラブ活動については生徒が少数であるので、通りの機能は発揮して、な、状態である。

・ 機材に関しては、柔道隊員が代わっているため、設備は整っている。柔道着、畳は
現地購入は可能であるが、質が数段階落ちる。

・ 使用する言語 ~ 英語、その他タガログ語

・ 前隊員 (原川、青木、田川) は余暇を利用して、フィリピン柔道協会道場及び町道場において指導
している。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

4 名代の JOCV 隊員によって、柔道は維持されている。大学当局においても生徒の中から柔道
指導者として将来成長を促すことを願っているが、授業日数が短か、こま、厳しい練習に最後まで身を削
って励まされる現状のため、現地指導者の実現は早急に望める現状である。今回も田川 隊員の交代と
して要請の運びにならなくてはならない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ・ 学歴 ~ 3 段以上で出来れば大卒
- ・ 実務経験 ~ 柔道歴 6 年以上
- ・ 条件 ~ 礼儀正しく、正しい受身 (前方回転、後方回転、側方受身) を指導出来る
技技、固技の他、多少の護身術もマスターして居ることが必要

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

51. 7. 16

786 武 道

記入 昭和 年 月 日

調査者氏名 山口 孝一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Judo (Coach)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 武(柔)道	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 52 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Police Headquarters, Home Ministry, HMG/Nepal

(日本語): 内務省警察本部

ロ. 隊員勤務先名称: Police Training Centre 日本語名称 (警察訓練所)

所在地: Kathmandu 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

警察官の新規採用者, 現職者に対する訓練

ニ. 設備概要: 屋内体育館に柔道訓練に必要な畳が設置されている

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位 教官 (1回の訓練期間 4ヶ月, 40名程度の警官に対して柔道指導をする)

② 技術の範囲 一般的な技術指導(柔道の)に加え, 柔道の背景と成している精神礼儀, 作法についても指導. その他, 警官相手であるので逮捕術, 護身術の指導も要望される。

③ 業務の形態 教官としての業務に併せて, 協力隊として4代目の隊員になることによりネパール側が自立して柔道指導が出来るようになるか提言できることが必要。(引き渡して行く状態にむけてやるべき)

④ 対象者 カンジレポートにおいて 対象者は in-service training であるので柔道を習ったことのある人が対象となる(20名) カンジレポートにおいては 2段有資格者がいる。

⑤ 利用可能な機材 JOCVを通じて, 又警察側が積極的に畳, 柔道着を揃えてくれる。

⑥ 才3国人 無

⑦ 使用言語 ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネパール警察訓練所に対する協力は 第1代の 投入専門系から協力隊員がその後, 栄任, 橋本隊員, 現在の旧中隊員と続いている, ネパール側には 2段の有段者がいるが, 警視総監は まだ ネパールで自分で訓練が出来ない状態であると判断しており, 交信を要請するにいたった。柔道の訓練は それを通じて警官としての資質の向上を計るため。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 4段有資格者 ; 単に柔道の伝授のみに終わりでなく, ネパールの柔道の定着に提言できる見識 ~~を~~ 実行的人。できれば 警察という職場のため 警察出身の人がよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78601 柔 道

記入昭和 50年 7月 1日

調査者氏名 東原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ジュニア	(現地公用語) JUDO	(男) 1人	訓練開始月30日 50年 10月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定月30日 51年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): *Le Ministère de la Jeunesse et des Sports*
 (日本語): 青年スポーツ省
- ロ. 隊員勤務先名称: 未定 日本語名称 (未定)
 所在地: 未定 (Tunis または Sfax の可能性大) 主要都市からの距離 (Tunis より 約 500 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 配属先未定故不明
 全Tunisie内の柔道人口は 2000人以上あり、内有段者は約80人である。
 柔道クラブ数は Tunisで6、全国で約20、指導者は2-3段の柔道家。
- ニ. 設備概要: 配属先未定故不明
 (Tunis市内には 約100畳の青年スポーツ省の道場がある。)

(2) 隊員の業務内容:

隊員の配属先は、体力、経験に基づいて決定され、訓練中に履修を受領後青年スポーツ省によって決定される。当方からの要請をあまりにきつくりと固めていくと融通がきかなくなり、本邦での募集に差し障りが生じ、また派遣時に会い違いが生ずる恐れがあるので、青年スポーツ省は柔軟な態度で臨み、当初はハイオアの隊員と考えている。隊員の業務上の地位、業務の形態は、Entraineurs (コ-4) であり、主として各地に散っているナショナルチームのメンバーの指導、柔道連盟下の各クラブでの実技指導、場合によっては体育専門学校や師範学校において講義、実地指導にもあたります。当国柔道界の第一人者 M. ALI は、明治大学に留学の経験があり、講道館4段の免状をもち、身長 185cm の大男であり、某クラブにて後進を指導している。柔道連盟内においては約50人 青年スポーツ省に就いて大きな発言力を有する男である。Tunisのナショナル道場には約百枚の畳があるが、地元の道場は畳はなく、代用品を使っている。道衣は屋敷の裏のTunis市内の周辺で販売している。専門家としては、青年スポーツ省との私的契約という形で講道館から5~6段クラブが常時1名派遣されている。現在の大田五段 (在Tunis 27才) は3代目。使用する言語は、フランス語、アラビア語、日本語であるが、強人の若人がフランス語を解るので、訓練中はフランス語を勉強した方がいい。

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国では政府の方針としてスポーツ振興に力を入れている。柔道人口が年々増加している現在、柔道コ-4の不足が目立ち、当国にとって隊員とは安あがりな役提供者といえること、スポーツ省の期待は大である。隊員は青年スポーツ省傘下の連盟より派遣することになるが、上記 Tunisie 柔道界第一人者を買けない位の實力がなければならぬ。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- 学歴: 不問 取得資格: 講道館免状4段以上
 実務経験: 後進に柔道指導経験があること (理論B, Cが実技)
 身 令: 体力的にみて若い才が望ましい (25才以下)
 その他: 包容力のあるおおらかな人。

派遣時期は必ずしもこのとおりではないが、その程度に注意して記入すること。

78601 系 道
日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

~~786 武 道~~
文 道

記入昭和 49 年 10 月 1 日
調査者氏名 吉村 正彦

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Judo Instructors (日本語) 柔道	(男) 42 人 (女) 人 (男女別可) 人	訓練開始 50 年 10 月 派遣予定 50 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Zambia Police Headquarters

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Home Affairs

(日本語): 内務省 警察庁

2. 隊員勤務先名称: Lilayi Training School, Kamfinsa
所在地: Lilayi, カンフィンサ
日本語名称: (1) 警察訓練学校 (2) カンフィンサ 警察隊本部
主要都市からの距離: (1) 約 16 キロ

3. 事業規模及び内容: 警察庁、現機動隊員及び心身訓練隊員に対し、柔道と速捕術を指導する。警察庁は 100 名と年 5 回 (1951) 新機動隊は 35 名と年 2 回 訓練する。

4. 設備概要: 1) 15 畳 50 畳 柔道衣 50 着
2) 12 畳 90 畳 柔道衣 50 着

(2) 隊員の業務内容:

1) 警察訓練学校及びカンフィンサ 機動隊本部で柔道と速捕術の指導に当たる。以下、分散指導式実施のため、1) 2) の柔道場同校舎内中 2) の柔道場内設校舎 (1) の柔道場と 2) の柔道場に、隊員は指導任務を分担する。

- ① 隊員の業務上の地位: 柔道指導員として official 扱われている。
- ② 指導の範囲: 柔道四段以上の速捕術の指導が出来る事。
- ③ 業務の形態: 1) 警察訓練学校では、年 5 回、1 回 100 人、133 人の 67 人の訓練場中 20 時と柔道の必修訓練に当り、午前 8 時から 11 時迄の指導。午後 5 時から 7 時迄の速捕術 2 時 30 分と対象者に指導に当たる。又、午後 6 時から 9 時 30 分迄警察本部、2) のカマフィンサに於いては 20 時 30 分迄指導に当たる事がある。また、機動隊本部に於いては午前 2 時 30 分 午後 2 時 30 分 (月曜～土曜) 柔道と速捕術の指導を行う。
- ④ 対象者及びカンフィンサの指導小隊の事及び中令:
第 1 期カンフィンサ 8 名は初級。第 2 期カンフィンサ 12 名は中級。本隊卒業後、25 名は ① ② ③ ④

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ザンビア警察は柔道速捕術の普及に積極的である。隊員の業績を高く評価している。以下、分散指導式と計画している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

学歴は高卒以上の柔道四段以上と速捕術の指導が出来る事。本邦警察本部で 2 年、上記の経験と有るに於いて、取立 1 回以上。第 1 期カンフィンサの実力の 2 級前後で可成り、実力の向上を付記する。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和51年9月29日

78601 派遣

調査者氏名 花田真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) JUDO	(男) 1人	訓練開始 52年4月
	(日本語) 柔道	(女) / 人	派遣予定 52年8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 52年9月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO DE CULTURA, JUVENTUD Y DEPORTE

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: ASOCIACION DE JUDO 日本語名称 (柔道協会)

所在地: SAN JOSE 主要都市からの距離 (より) キロ

ハ. 事業規模及び内容: 協会登録者数50名であるが未登録者も含めるとかなりの数に達する。道場は24枚のマット敷きで利用率は非常に高い。コート不在のため技術の進歩がみられない。

ニ. 設備概要: 現在在籍邦人(レストラン経営者)が暇をみてコートを設けている。

(2) 隊員の業務内容:

上記協会において一般アマチュア青少年を対象に実技指導を行う。一般に對しては夜間7時~9時の間、少年に對しては午後の時間帯に指導する。又その他都合によつてコスタリカ大学に出向いて体育学部の生徒を指導する場合もあり得る。現在柔道の練習生は40人おり初段程度の實力者2名もいる。

- ① 業務上の地位: コスタリカ柔道協会コートの大学講師
- ② 技術の範囲: 実技の指導を中心に正しい柔道の普及
- ③ 業務型態: 協会の指導を中心に指導する。
- ④ 対象者: 一般アマチュア、学生、少年、カウンターパートについては対象者の中から優秀な人材を選取し養成する事が望ましい。
- ⑤ 現地機材: 協会、大学を以て24畳敷の道場を所有しているがマットが足りぬとあり練習時の危険を伴うおそれがある。
- ⑥ 他国の実況: ある。
- ⑦ 使用言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

コスタリカの柔道導入の歴史はかなり古く、現在までコートの恵まれない停滞の状態にある。こうした状況下において正しい柔道の普及と青少年教育の一環の及協力隊各員の要請が切迫した。隊員の来コに伴い、新道場建設のプランもあり近々資金が提出される予定にある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

・最低3段の實力を持つ者。できれば4段が望ましい。
 学歴... 高卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78602 空 手

記入昭和 57 年 / 月 20 日

調査者氏名 大久保純夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) KARATE	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 空手	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Interior
(日本語): 内務省

ロ. 隊員勤務先名称: Direction of Police School. 日本語名称 (警察学校)
所在地: 主要都市からの距離 (より: キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 警察学校 教官
- ② 業務の範囲: 生徒を中心に JYOJUKU-GU の指導
- ③ 業務の形態:
- ④ カラコンパート: FL
- ⑤ 機材: FL
- ⑥ 本国語: FL
- ⑦ 言語: アラビア語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

日本空手道協会 (4段以上)

岡本(使) → 岡本(使) 隊員、交替